

さあ、はじめましょう))) パソコンの準備



1 使い始める前に

2 接続する

3 パソコンを準備する

4 指紋認証を使う

5 各部名称

6 仕様一覧

付 録

知りたいことを調べるには

まずはここから！

パソコンの準備

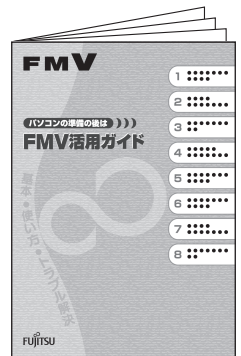
買ってから、使い始める前の準備はこれでバッチリ。



さあ、パソコンを使いこなそう！

FMV 活用ガイド

基本や活用、セキュリティからトラブル解決までこれ一冊。

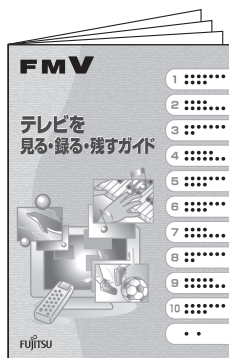


テレビチューナー内蔵の機種なら

テレビを見る・録る・残すガイド

FMVでテレビを見たり録ったりして楽しむには、これ！[注]

注:テレビチューナー内蔵機種のみ添付
(ただし、Microsoft®Windows®XP
Media Center Edition 2004搭載機種
には非添付)



ちょっと確認！

基本操作クイックシート



サポートについては…

サポート&サービスのご案内



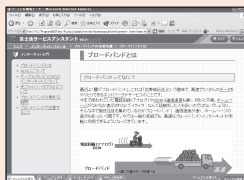
※この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

手元にあると便利、パソコンの基本操作や文字入力の見易表！
(三つ折りになっています)

どうしても問い合わせないとわからない…。そんなときはこれ！

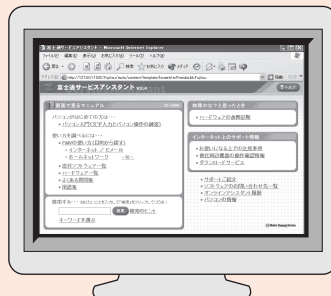
マニュアルは「本」だけではありません！～パソコン画面にもマニュアルがあります～

FMVの使い方



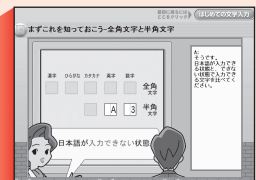
ソフトウェアもハードウェアも、インターネットのことだって、なんでも目的から簡単に探せるので便利！

サービスアシスタント



FMVのことなら、何でもこれにおまかせ！
インターネットにあるFMVの最新情報へもここからアクセスできます。

パソコン入門



パソコンの基本操作や文字入力を楽しく学習したいならこれ！

※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

『パソコンの準備』の内容

必ずお読みください

まず機種名や添付品の確認をします

第1章 使い始める前に (●▶P.19)



必要な機器を接続します

第2章 接続する (●▶P.25)



電源を入れてパソコンを使う準備をします

第3章 パソコンを準備する
1 初めて電源を入れる (●▶P.30)

目的に合わせてお読みください

- 指紋認証を使いたい (●▶P.57)
- 各部名称を知りたい (●▶P.69)
- 仕様を確認したい (●▶P.78)
- メモリを増やしたい (●▶P.84)

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクやCD-Rなどの媒体にバックアップをお取りください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 本ソフトウェアの使用および著作権**
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- バックアップ**
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
- 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み**
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
- 複製**
 - 本ソフトウェアの複製は、上記「2」および「3」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
 - 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないで行ってください。
- 第三者への譲渡**
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
- 改造等**
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 壁紙の使用条件**
お客様は、「FMV」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
- 保証の範囲**
 - 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
 - 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知られていた場合も同様とします。
 - 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
- ハイセイフティ**
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（<http://www.microsoft.com/japan/>）。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。




ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。




このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う危険があることを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。








	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 <ul style="list-style-type: none">画面にある  をクリック「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記	
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition	Windows
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional	
Microsoft® Office Personal Edition 2003	Office Personal 2003	
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法	
DVD マルチドライブ、CD-RW/DVD-ROM ドライブ	CD/DVD ドライブ	
富士通サービスアシスタント V2.4	サービスアシスタント	
Norton Internet Security™ 2004	Norton Internet Security	

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
インテル、Intel、Pentium、Celeron および Centrino は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Motive のロゴ、Motive Communications, Inc.、ServiceNet Platform および Motive の他の製品名あるいは技術用語は Motive Communications, Inc. の商標または登録商標です。

「メモリースティック」、「メモリースティック PRO」、「メモリースティック Duo」、「メモリースティック PRO Duo」、「マジックゲート」は、ソニー株式会社の商標です。

SD カードおよび SD ロゴは、SD ASSOCIATION の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2004

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM/DVD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
 - ・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。
- なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

本製品のハイセーフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセーフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセーフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセーフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品には、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、CD/DVD ドライブ、スピーカー、AC アダプタなど）が含まれており、長時間連続で画面を表示させたり動作させたりした場合、早期の部品交換が必要になります。保証期間は1 年間で、（契約により異なる場合があります）。

- ・液晶ディスプレイは寿命とは別に使用時間によって輝度が低下します。
- ・バッテリーパックは消耗品です。

本製品の使用環境は、温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

ワイヤレス LAN 搭載モデル（IEEE 802.11g 準拠）の場合

- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
- 連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」
- ・パソコン本体と通信相手の機器との通信距離は、見通し半径 25m 以内（ワイヤレス通信の推奨値）となります。ただし、ワイヤレス LAN の特性上、ご利用になる建物の構造や材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度が低下したり通信不能となる場合もあります。
 - ・IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のワイヤレス LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を5チャンネル以上あけてお使いください。
 - ・本製品と IEEE 802.11a 準拠の機器とは、使用している周波数帯域が異なるため、通信できません。ご注意ください。
 - ・航空機内では使用しないでください。罰せられる場合があります。

本製品でテレビや DVD、ゲームなどの映像を見たり、本製品にご家庭のテレビなどを接続してご利用になる場合には、部屋を明るくして、画面から充分離れてご覧ください。

映像を視聴する方の体質によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。また、このような症状を発症した場合には、本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリパースエンジニアリングや分解は禁止されています。

ドルビー、DOLBY、ダブルD 記号、AC-3 およびプロロジックはドルビーラボラトリーズの商標です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含まれています。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。また、バッテリー残量が不十分な場合、バッテリー未搭載で AC アダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。

安全上のご注意

FMV-BIBLO、FMV-BIBLO LOOX を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。

パソコン本体の操作に関する注意事項

- ・電源を入れて本製品が起動するまでは、むやみにキーボード、マウス、ポインティングデバイスやリモコンに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
- ・BIOS セットアップは、必要な場合以外はむやみに設定を変更しないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
- ・パスワードを設定する場合は、パスワードを書き留めて、安全な場所に保管してください。パスワードを忘れると、本製品は使用できなくなり、修理が必要となります。
- ・添付の各マニュアルをよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

やさしく扱ってください



- ・電源が入った状態で持ち運ばないでください。



- ・自転車やバイクなどに載せて持ち運ばないでください。



- ・持ち運ぶ場合は、鞆などに入れ、衝撃や振動を与えないでください。



- ・重い物をのせないでください。



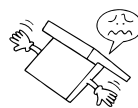
- ・パソコン本体や AC アダプタを投げたり、落下させないでください。



- ・コーヒーなどの液体や、クリップなどの金属が入らないよう注意してください。



- ・ディスプレイを無理に大きく開けないでください。



- ・ディスプレイを開けたまま、裏返して置かないでください。



- ・パソコン本体を立てて置かないでください。バランスが崩れて倒れるおそれがあります。



- ・ディスプレイの枠を持って、パソコン本体を持ち上げないでください。



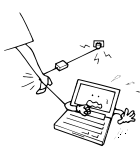
- ・ディスプレイをたいたり強く押したりしないでください。



- ・AC アダプタの抜き差しは、電源プラグを持って行ってください。



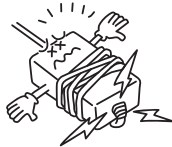
- ・コードを継ぎ足すなどの加工はしないでください。



- ・コードを無理に折ったり引っ張ったりしないでください。



- ・分解しないでください。



- ・ACアダプタのコードは、本体にきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。断線の原因となります。



- ・必ず一般の電源（100V）をお使いください。
- ・濡れた手で AC アダプタを扱わないでください。感電のおそれがあり、大変危険です。



- ・フロッピーディスクのラベルは重ねて貼らないでください。また、しっかりと貼ってからセットしてください。

万一、異常が発生したとき

⚠ 警告



- ・ 万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにパソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、その後必ず AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

異常な現象がなくなるのを確認して「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



- ・ 異物（金属片・液体など）がパソコン本体の内部に入った場合は、ただちにパソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- ・ 本製品を落したり、カバーなどを破損した場合は、パソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着している場合は、バッテリーパックも取り外してください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本体・周辺機器の取り扱いについて

⚠ 警告



- ・ 自動車などを運転中に使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに止めてからお使いください。



- ・ AC アダプタは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・ 濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



- ・ AC アダプタやコネクタの金属部分に手を触れないでください。
感電の原因となります。



- ・ AC アダプタの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。



- ・ AC アダプタの電源ケーブルが傷んだときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



感 電

- ・ AC アダプタの電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。



感 電

- ・ 本製品をお客様ご自身で分解・改造しないでください。
感電・火災の原因となります。



感 電

- ・ 液晶ディスプレイに何も表示できないなどの故障状態では、本製品を使用しないでください。故障の修理は「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



感 電

- ・ パソコン本体の各スロットやカバーは、バッテリー交換や周辺機器の取り付けなど、必要な場合を除いて取り外さないでください。
内部の点検、修理は「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



感 電

- ・ 台所など、湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所で本製品を使用しないでください。感電・火災の原因となります。



感 電

- ・ 風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で本製品を使用しないでください。感電・火災の原因となります。



感 電

- ・ 本製品に水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



感 電

- ・ 本製品の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器や、「クリップ・ピン」などの金属物を置かないでください。
感電・火災の原因となります。



感 電

- ・ 開口部（各スロットなど）からパソコン本体内部に、金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。



誤 飲

- ・ 取り外したカバー、キャップ、ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が誤って飲み込むと窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かないところに置くように注意してください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



感 電

- ・ 近くで雷が起きたときは、パソコン本体の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、その後 AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、モジュラーケーブルを電話回線の差し込み口から抜いてください。
そのまま使用すると、雷によっては本製品を破壊し、感電・火災の原因となります。
また、安全のため避雷器の設置をお勧めします。
ただし、避雷器の許容値を越えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても装置を保護できないことがありますので、ご了承ください。



- ・周辺機器の取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源スイッチ（主電源スイッチなど）を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
感電の原因となります。



- ・周辺機器を接続する場合には、弊社純正品をお使いください。
弊社純正品以外の機器を使用すると、感電、火災または故障の原因となります。



- ・バッテリーの交換などで、バッテリーパックの取り付けや取り外しを行う場合は、誤って落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。また、安全を考慮し、強い衝撃を与えたバッテリーパックは使用しないでください。
感電や火災、破裂の原因となります。

⚠ 注意



- ・AC アダプタを使用する場合は、指定外の AC アダプタは使用しないでください。
火災・けがの原因となることがあります。



- ・AC アダプタは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。



- ・AC アダプタの電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



- ・振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



- ・本製品の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



- ・直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、パソコン本体内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



- ・排気孔などをふさがないでください。
排気孔などをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ・使用中のパソコン本体や AC アダプタなどは、布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。



- ・本製品を移動する場合は、必ず AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
AC アダプタの電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



感電

- ・本製品を長期間使用しないときは、安全のため必ず AC アダプタをコンセントおよび本製品から抜いてください。バッテリーパックを取り外せる機種では、バッテリーパックも取り外してください。感電・火災の原因となることがあります。



けが

- ・液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。



けが

- ・フロッピーディスクをセットするとき、および取り出すときには、ドライブの差し込み口に指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。



けが

- ・CD または DVD をセットするとき、および取り出すときには、トレイに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。



けが

- ・PC カードをセットするとき、および取り出すときには、PC カードスロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。



高温

- ・PC カードの使用終了直後は、PC カードが高温になっていることがあります。PC カードを取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。
火傷の原因となることがあります。



けが

- ・バッテリーはショートさせたり、加熱したり、分解したり、落下などで衝撃を与えたり、火や水の中に入れたりしないでください。
バッテリーの破裂、液もれにより、火災・けが・周囲を汚す原因となることがあります。



けが

- ・本製品を長期間使用しない場合には、バッテリーパックを取り外しておいてください。バッテリーから液がもれることがあります。もし、バッテリーから液がもれた場合は、バッテリー取付け部に付いた液をよく拭き取ってから、新しいバッテリーパックを取り付けてください。また、もれた液が皮膚についたときは、水でよく洗い流してください。
火災・けが・周囲を汚す原因となることがあります。

無線通信機能内蔵パソコンの取り扱いについて

警告



事故

- ・病院内や医用電気機器のある場所では無線通信機能を OFF にしてください。特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。無線通信機能からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

ペースメーカー誤作動



- ・心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。

ペースメーカー誤作動



- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、無線通信機能を OFF にしてください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



事故

- ・ 航空機内では無線通信機能を OFF にしてください。運航の安全に支障をきたすおそれがあります。



事故

- ・ 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは使用しないでください。無線通信機能からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



感電

- ・ 絶対に分解や修理・改造をしないでください。内部に触ると感電の原因になります。



爆発

- ・ ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では無線通信機能を OFF にしてください。爆発や火災の原因になります。

乾電池について

⚠ 危険



指示

- ・ 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告



発火

- ・ 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
- ・ 乾電池を入れる場合、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・ 指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・ 乾電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠ 注意



故障

- ・ 長時間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出しておいてください。万一液漏れした場合は、水に浸した布を硬く絞って金具、周囲を清掃し、その後、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・ 電池から漏れた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。また目や口に入ったときは、水でよく洗い流した後、ただちに医師の診断を受けてください。
- ・ 電池ボックスの端子をショートさせないでください。
- ・ 寿命がなくなった乾電池はすぐに取り出してください。放置すると、腐食により装置を傷めることがあります。



破裂

- ・ この電池は充電式には造られていません。充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



- ・電池に直接はんだ付けをしないでください。熱により絶縁物や安全弁などを損傷させたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



- ・電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。

レーザーの安全性について

本製品に搭載されている CD/DVD ドライブは、レーザーを使用しています。

クラス 1 レーザー製品

CD/DVD ドライブは、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）SubchapterJ に準拠しています。また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN 60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠ 注意

レーザー光



- ・ CD/DVD ドライブをマニュアルに記載された説明や手順以外の方法で使用すると、レーザー放射の危険があります。また、CD/DVD ドライブを開くと、危険なレーザーを浴びる可能性があります。ドライブを絶対に分解しないでください。

一部の CD/DVD ドライブには、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードを使用しています。

⚠ 注意

レーザー光



- ・ CD/DVD ドライブのカバーを開くとクラス 3A またはクラス 3B のレーザーが放射されます。レーザー光線を見つめたり、光学器機を使って直接見たりしないでください。またレーザー放射を直接浴びないようにしてください。

その他

⚠ 警告



- ・ 梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



- ・ 電池を取り外した場合は、小さなお子様が発電機を誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

腰痛・腱鞘炎・ 本製品を無理な姿勢で長時間使い続けると、腰痛や腱鞘炎の原因となることがあります。以下に示すような正しい姿勢で使用し、1 時間に 10 分以上休憩をとってください。



- いすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- ひじは 90 度以上に伸ばして操作する。

目の障害



- 液晶ディスプレイを長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。1 時間に 10 分以上の休憩をとってください。また、なるべく画面を下向きに見る位置にする、意識的にまばたきをする、場合によっては目薬をさすなどしてください。

聴力障害



- ヘッドホンなどをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となります。

聴力障害



- ヘッドホンなどをしたまま電源スイッチ（主電源スイッチなど）を入れたり切ったりしないでください。刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



破 裂

- 本製品またはバッテリーパックを廃棄する場合は、他のゴミと一緒に捨てないでください。本製品はリチウム電池を、またバッテリーパックはリチウムイオン電池またはニッケル水素電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。



故 障

- 本製品の操作に必要なない箇所を押したり、本製品に必要以上の力を加えたりしないでください。誤動作の原因となることがあります。



発 火

- 本装置は連続動作（24 時間動作）を目的に設計されておりません。安全のため、ご使用にならないときは電源を切ってください。火災の原因となることがあります。



目次

このマニュアルの表記について	3
安全上のご注意	7

第1章 使い始める前に

1 確認してください	20
機種名を確認してください	20
添付品がすべて揃っているか確認してください	20
2 使用上のお願い	21
使用および設置に適した場所	21
使用および設置に適さない場所	21
パソコン本体取り扱い上の注意	22
放熱について	22
パソコンを持ち運ぶときは	22
液晶ディスプレイのお手入れ	23
3 必要なものを揃える	24

第2章 接続する

1 ACアダプタを接続する	26
---------------	----

第3章 パソコンを準備する

1 初めて電源を入れる	30
初めて電源を入れる～Windowsのセットアップ	30
2 電源の切り方と入れ方	44
電源を切る	44
電源を入れる	47
3 インターネットを始めるための準備をする	49
初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策	49
インターネットに接続するには	50
インターネットに接続したら	51
4 ユーザー登録をする	52
ユーザー登録をするとご利用になれるサービス	52
パソコンの画面上でユーザー登録する	53
5 準備が完了したら	54
パソコンの準備はすべて完了していますか？	54
パソコンの準備が完了したら『FMV活用ガイド』へ	55
テレビの操作を知りたいときは『テレビを見る・録る・残すガイド』へ	56
ワイヤレスLANをお使いになる場合	56

第4章 指紋認証を使う

1 指紋認証を使う準備をする	58
Windowsのパスワードを作成する	58
指紋を登録する	60
Windowsにログオンする	64
指のスライドのさせ方	66
指紋センサーについての注意	67
指紋認証をお使いになる場合の注意	68

第5章 各部名称

1 パソコン本体前面	70
2 パソコン本体上面	71
3 パソコン本体側面	72
パソコン本体左側面	72
パソコン本体右側面	72
4 パソコン本体背面	73
5 パソコン本体下面	74
6 状態表示 LED	75

第6章 仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	78
仕様一覧の注記について	82

付 録

1 メモリについて	84
周辺機器の取り扱い上の注意	84
メモリの取り付け場所	85
必要なものを用意する	86
メモリの組み合わせ表	86
メモリを増やす	88
メモリ容量を確認する	92

索引	93
----	----

1

第 1 章

使い始める前に

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

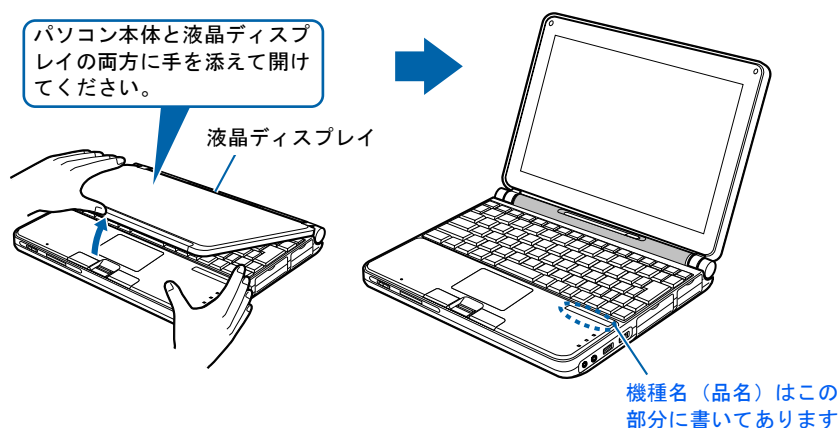
1 確認してください	20
2 使用上のお願い	21
3 必要なものを揃える	24

1 確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

機種名を確認してください

お使いの機種によって、マニュアルを読む箇所が異なります。お使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。

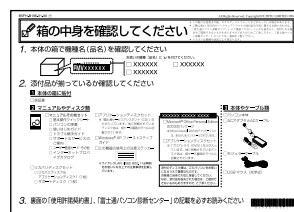


（イラストは機種や状況により異なります）

添付品がすべて揃っているか確認してください

「箱の中身を確認してください」をご覧になり、添付品をもう一度ご確認ください。

ご購入後 1ヶ月以内のハードウェアトラブルや添付品の不足に関するお問い合わせは、「富士通パソコン診断センター」にご連絡ください。1ヶ月を過ぎると、有料となる場合やご提供できないものもありますのであらかじめご了承ください。富士通パソコン診断センターについては、「箱の中身を確認してください」裏面をご覧ください。



（機種により若干異なります）

2 使用上のお願い

1

パソコンを設置するのに適した場所や適さない場所、使用上の注意について説明します。

使用および設置に適した場所

- ・机の上など平らで安定した場所
- ・パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に十分なスペースが取れる場所
- ・本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけられる場所
- ・コンセントから直接電源をとれる場所
- ・電話回線を使ってインターネットに接続するときは電話回線の近くに置ける場所

使用および設置に適さない場所

- ・極端に高温または低温になる場所
- ・結露する場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・衝撃や振動の加わる場所
- ・磁石や磁気ブレスレットなど磁気を発生するものの近く
- ・ほこりの多い場所
- ・水など液体のかかる場所
- ・湿度の高い場所
- ・安定の悪い場所
- ・発熱器具の近くや、腐食性のガスなどが発生する場所

POINT

- ・本製品の使用環境は、温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です。
- ・結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

パソコン本体取り扱い上の注意

- ・衝撃や振動を与えないでください。
- ・分解しないでください。
- ・電源を入れたまま（スタンバイ中を含む）の状態で持ち運ばないでください。
- ・長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じる場合があります。これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、キーボードなどの表面も温くなるためです。故障ではありません。
- ・ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。使用条件によっては、パソコンの底面が高温になる場合があります。
- ・排気孔（●▶P.73）はふさがらないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- ・排気孔（●▶P.73）の近くに物を置かないでください。排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物が熱くなることがあります。
- ・磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものを近付けしないでください。保存しているデータが消えてしまうおそれがあります。
- ・ワイヤレス LAN 機器が発信する電波は、携帯電話の電波と同じように電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では、ワイヤレス LAN 機能を停止してください。
病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知器の近く／その他、使用規制のある場所など

放熱について

- ・電源が入っているときは、キーボードの上に書類などのおおいかぶさる物を置かないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因になります。
- ・パソコンを長時間お使いになると熱く感じる場合がありますが、これは故障ではありません。

パソコンを持ち運ぶときは

- ・パソコンの電源を切ってください。
- ・接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。接続したまま持ち運ぶとケーブルや本体のコネクタを破損するおそれがあります。
- ・パソコン本体に PC カードをセットしている場合は、必ず PC カードを取り外してください。PC カードを取り付けたまま持ち運ぶとパソコンや PC カードを破損するおそれがあります。
- ・液晶ディスプレイを閉じてください。


液晶ディスプレイのお手入れ

1

液晶ディスプレイの汚れは、添付の画面清掃用クロスまたは乾いた柔らかい布かメガネ拭きで軽く拭き取ってください。

重要

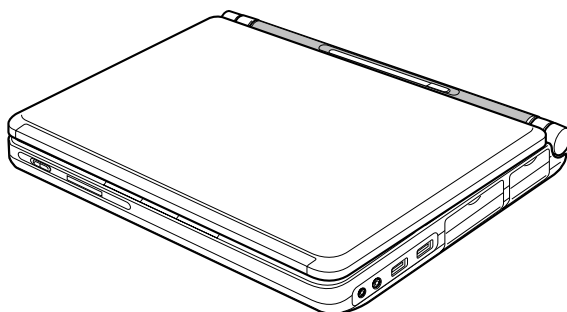
- ・液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
- ・液晶部分を拭くときは、必ずから拭きをしてください。
水や中性洗剤を使うと、液晶部分を傷めるおそれがあります。
- ・市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
 - ・アルカリ性成分を含んだもの
 - ・界面活性剤を含んだもの
 - ・アルコール成分を含んだもの
 - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・研磨剤を含むもの
 - ・化学ぞうきん

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「お手入れ」→「FMV のお手入れ」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ (▶▶P.31 ～ P.43) が終了してからご利用ください。

3 必要なものを揃える

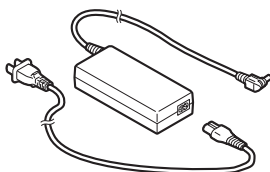
必要なものをあらかじめ揃えてから、第2章へ進みましょう。

■パソコン本体

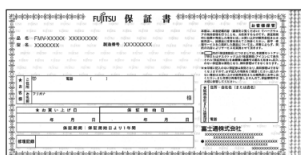


(イラストは機種や状況により異なります)

■ACアダプタとACケーブル



■保証書



梱包箱に貼り付けられています。

続いて、電源を入れてパソコンの準備をしましょう (→P.30)。

2

第 2 章 接続する

パソコンの接続について説明しています。

1 AC アダプタを接続する	26
----------------------	----

注意



- 故障
- ・ ケーブルは正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。

1 ACアダプタを接続する

ACアダプタは、差し込み口の形状をよく確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

⚠ 警告

感 電



- ・近くで雷が起きたときは、ACケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、パソコンを破壊し、火災の原因となります。

⚠ 注意

故 障



- ・ACアダプタは正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体が故障する原因となることがあります。

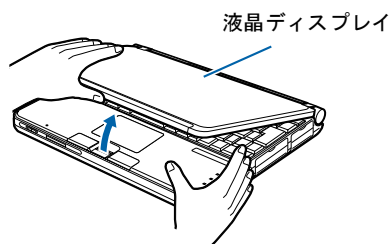
🔍 POINT

ACアダプタは熱くなる場合があります

パソコンの使用中は、ACアダプタが熱くなることがありますが、異常ではありません。

1 液晶ディスプレイを開きます。

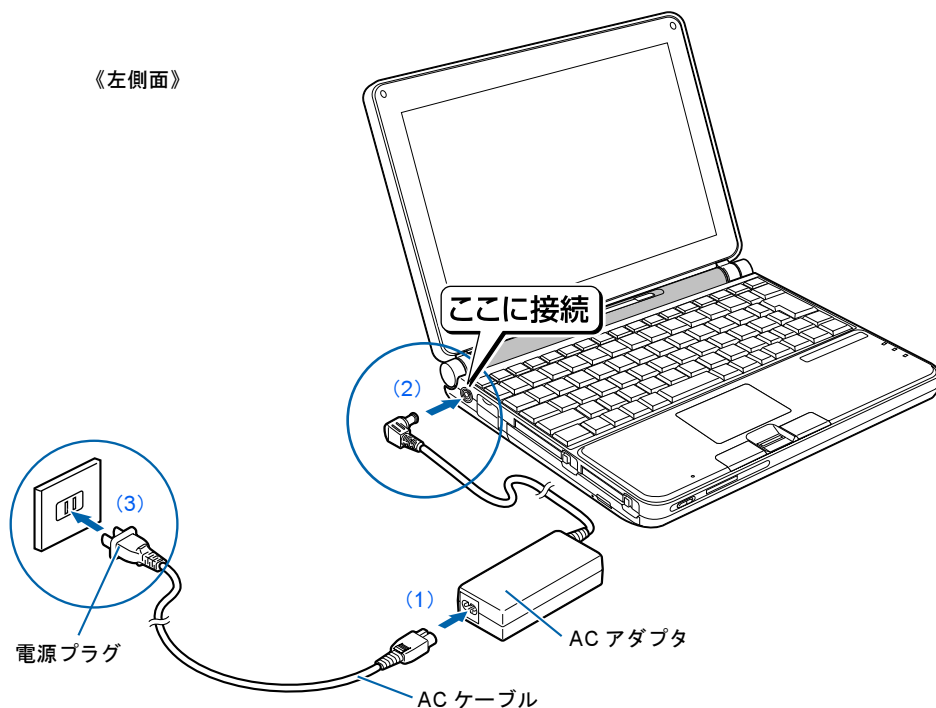
パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。



2 AC アダプタを取り付けます。

AC アダプタに AC ケーブルを接続し (1)、パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します (2)。その後、電源プラグをコンセントに接続します (3)。

《左側面》



続いて、電源を入れましょう (▶▶P.30)。

3

第 3 章

パソコンを準備する

初めてパソコンの電源を入れるときに行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

1	初めて電源を入れる	30
2	電源の切り方と入れ方	44
3	インターネットを始めるための準備をする	49
4	ユーザー登録をする	52
5	準備が完了したら	54


1 初めて電源を入れる

初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ

初めて電源を入れるときは、**Windows のセットアップ**という作業が必要です。Windows のセットアップとは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1 回だけ行う操作です。[このマニュアルの手順どおりに進めてください](#)。この Windows のセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになりません。







セットアップ時の注意事項

セットアップが終わるまで電源を切らないでください

Windows のセットアップの途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。セットアップの最後の手順が終わるまでは、電源を切らないでください。もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。

しばらく操作しないと


電源を入れた状態でしばらく（約 10 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

フラットポイントの操作面に触れたり、キーボードの     や  のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。それでも戻らない場合は、電源ボタン（▶P.70）を押してください（4 秒以上押し続けしないでください。パソコンの電源が切れてしまいます）。

重要

セットアップ前には、LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ（TA）を接続しないでください

LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ（TA）などが接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、接続してください。

LAN ケーブルの接続方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「LAN を使う」をご覧ください。

セットアップ前には周辺機器は接続しないでください

プリンタなどの周辺機器が接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続してください。



Windows のセットアップを始めましょう。

「Windows のセットアップ」とは、次の 3 つの作業のことです。合計 25 手順あります。

1 「Windows の設定」..▶手順 1 ～ 11

2 「必ず実行してください」の実行..▶手順 12 ～ 20

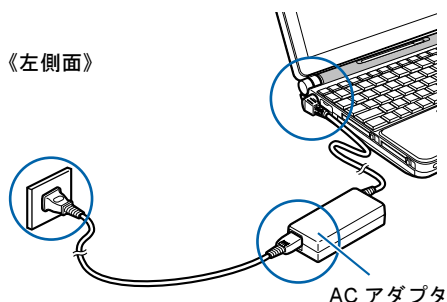
3 「サービスアシスタントの起動・終了方法」..▶手順 21 ～ 25

ページの右端にセットアップの進行状況を示していますので参考にしてください。

Windows の設定

1 AC アダプタがきちんと接続されているか、確認します。

念のため、AC アダプタをもう一度お確かめください。



2 電源を入れます。

電源ボタンを押します。



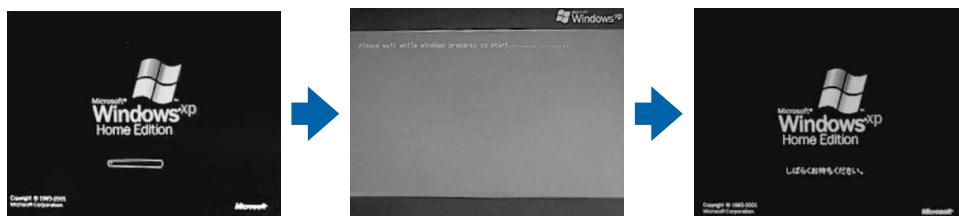
重要

電源ボタンは 4 秒以上押さないでください

電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れてしまいます。

3 そのまましばらくお待ちください。

電源を入れると、次のような画面が表示されます。



注：画面は Windows XP Home Edition のものです。Windows XP Professional の場合は、一部表示が異なります。

パソコンが再起動します。


この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。

手順 4 の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

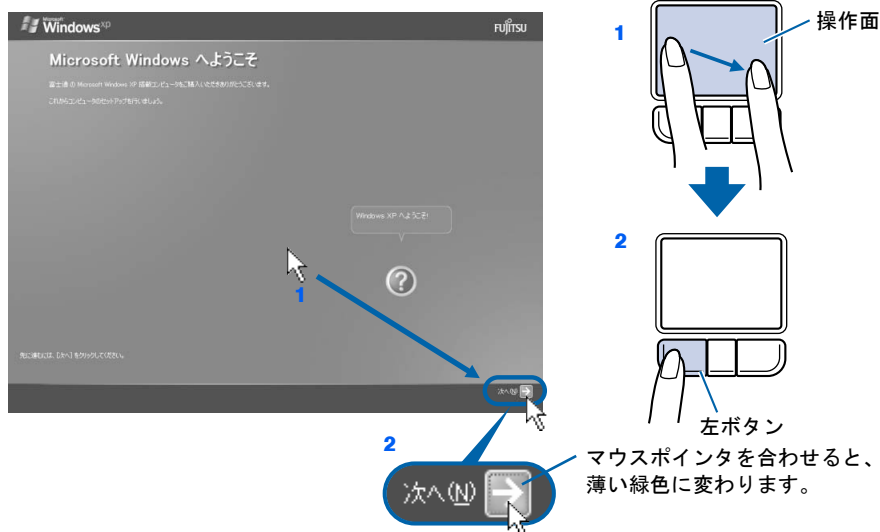
途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。

4 1 画面上の を「次へ」の右の に合わせ、2 フラットポイントの左ボタンを軽くカチッと 1 回押して、すぐ離します。

指先で、フラットポイントの操作面をなぞると、指の動きに合わせて、 (マウスポインタ) が画面の上を動きます。

2 の操作のことを、「クリック」といいます。



POINT

これ以降は機種により画面が異なる場合があります

このマニュアルと違う画面が表示された場合は、画面の指示に従い、手順 11 まで進めてください。

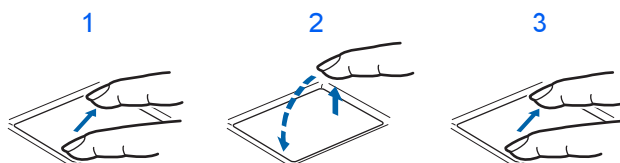
キーボードやフラットポイントで操作できない場合

キーボードやフラットポイントが効かなくなった場合は、「使用上のお願い」(●▶P.21)をご覧ください、パソコンを設置している環境を確認してください。それでも操作できない場合は、次の手順に従ってパソコンの電源を入れ直してください。

1. 本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切ります。
2. 10 秒以上たってから、電源ボタンを押して電源を入れます。

指が操作面の端まできたら

いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインタは動きません。



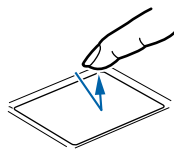
指を離している間はマウスポインタは動きません。

ボタンは軽く押すだけで OK!



フラットポイントのボタンは力を入れて押す必要はありません。カチッと 1 回押したら、すぐ指を離すようにします。

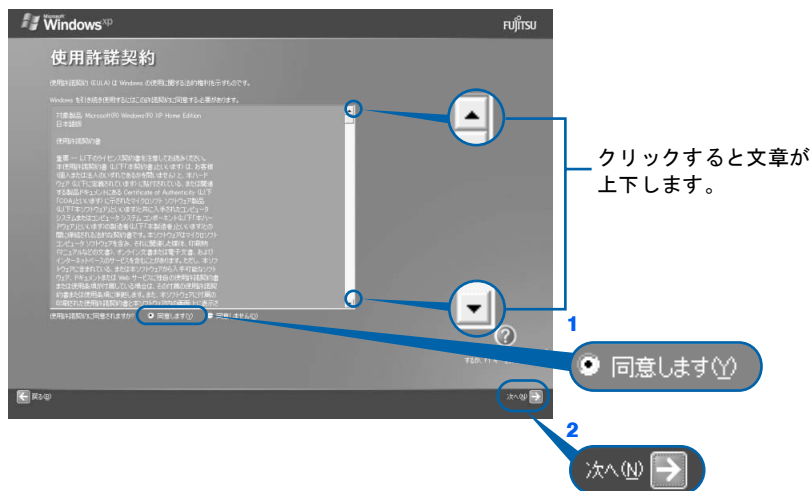
操作面を軽くたたいても、クリックになります

フラットポイントは、操作面を軽くたたいてもクリックができます。操作面に指をのせるときに、間違ってクリックしないように注意してください。

**うまくクリックできない場合**

なるべくボタンの中央部分を押すようにしてください。また、ボタンを押すときや離すときに、マウスの位置がずれないように、気を付けてください。

- 5** **1 Windows** の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックして  にし、**2** 「次へ」の右の  をクリックします。




注 : 画面は Windows XP Home Edition のものです。Windows XP Professional の場合は、一部表示が異なります。

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。



「同意しません」をクリックした場合

「続ける前に…」という画面が表示されます。使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになれません。

手順5の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左の  をクリックしてください。

- 6** 「次へ」の右の  をクリックします。

表示されているコンピュータの名前は、ここでは変更しません。コンピュータの名前は後から変更できます。詳しくは、Windows のヘルプを「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。



次の画面が表示されるまでお待ちください。

手順7、8の画面は Windows XP Professional の場合のみ表示されます。Windows XP Home Edition の場合は表示されないで、手順9へ進んでください。

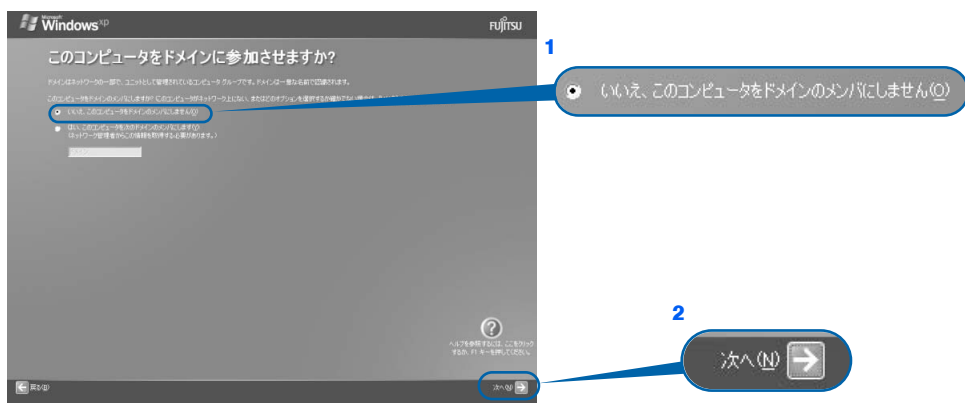
7 「次へ」の右の ➡ をクリックします。

ここでは何も入力しません。管理者パスワードは後から設定できます。詳しくは、Windows のヘルプを「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。



8 1「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバーにしません」の左が ☑ になっていることを確認し、2「次へ」の右の ➡ をクリックします。

ドメインの設定は後から行えます。詳しくは Windows のヘルプを「ドメイン」で検索し、「ドメインに参加する」をご覧ください。



9 「次へ」の右の➡をクリックします。



POINT

こんな画面が出た！

「インターネットに接続する方法を指定してください」という画面が表示された場合は、「省略」の右の➡をクリックします。
インターネット接続の設定は、セットアップが最後まで終わってから、「インターネットを始めるための準備をする」(▶P.49)をご覧ください。

10 1「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして⊙にし、2「次へ」の右の➡をクリックします。



POINT

「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「戻る」の左の◀をクリックして、手順 10 からやり直します。

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」という画面が表示された場合

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして⊙にし、「次へ」の右の➡をクリックします。

11 「完了」の右の ➡ をクリックします。



パソコンが再起動します。

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

POINT

Windows 起動時、または終了時の画面について

Windows 起動時、または終了時に、画面左上が白くぼやけて見えるときがあります。これは画面のデザインであり故障ではありません。

「FMV」ロゴ入りの壁紙が表示された画面について

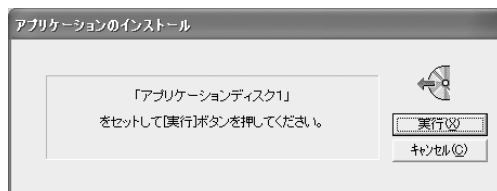
「FMV」ロゴ入りの壁紙が表示された画面では、画面がにじんだように見えるときがあります。これは壁紙のデザインであり故障ではありません。

「アプリケーションディスク 1」をセットして [実行] ボタンを押してください。」というメッセージが表示された場合

ご購入後初めて電源を入れて Windows のセットアップを行っている場合は、このメッセージは表示されません。

メッセージが表示されない場合は、そのまま次の手順にお進みください。

『FMV 活用ガイド』をご覧になりリカバリ作業を行っている場合は、再起動後に「アプリケーションディスク 1」をセットして [実行] ボタンを押してください。」というメッセージが表示されます。

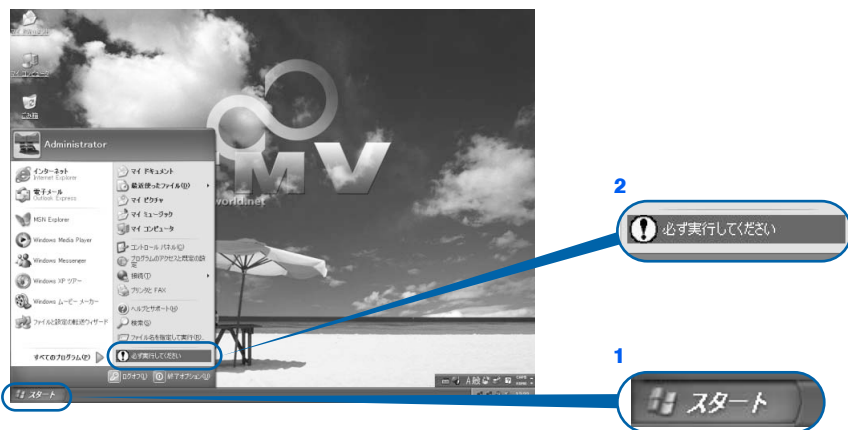


メッセージが表示された後の手順については、もう一度『FMV 活用ガイド』をご覧ください。

「必ず実行してください」の実行

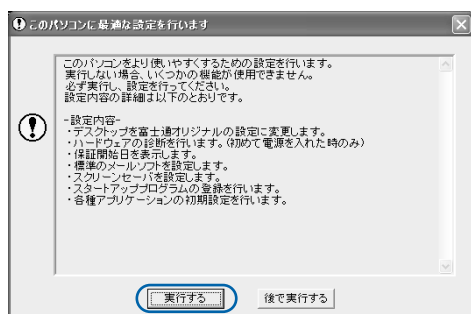
12 1「スタート」ボタン→2 必ず実行してください の順にクリックします。

必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

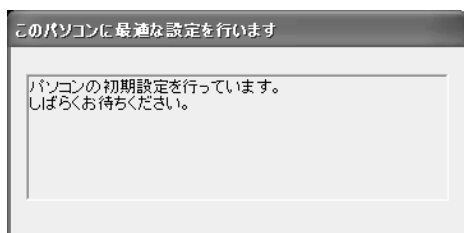


(これ以降の画面は状況により異なります)

13 「実行する」をクリックします。

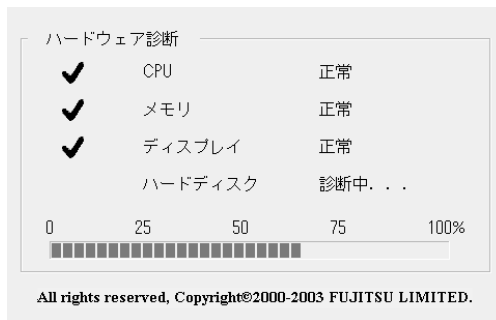


パソコンの初期設定が始まり、次の画面が表示されます。手順 14 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。



14 ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 15 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。

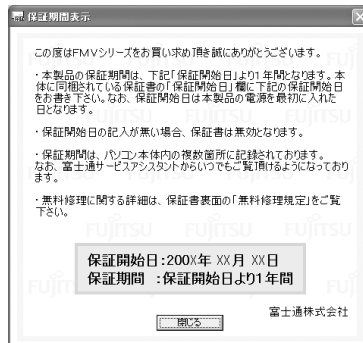


重要

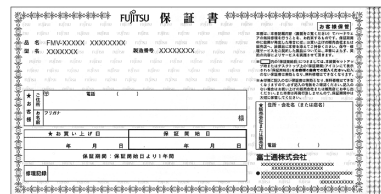
ハードウェア不良の画面が表示された場合

画面の指示に従ってください。

15 この画面が表示されたら、保証書を用意します。



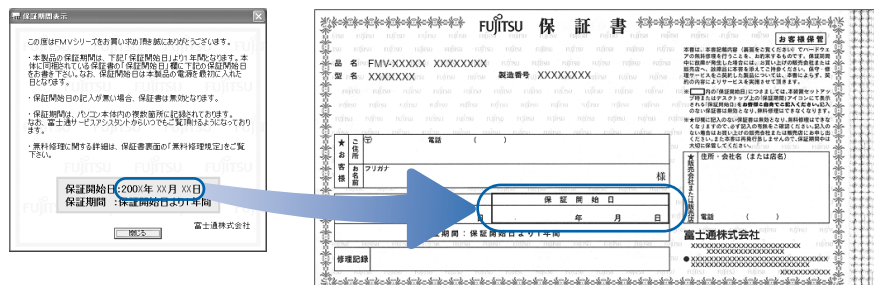
保証書は梱包箱に貼り付けられています。



16 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

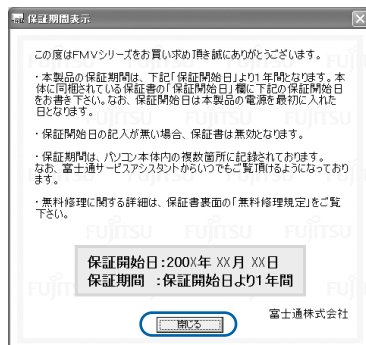
保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります（なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。



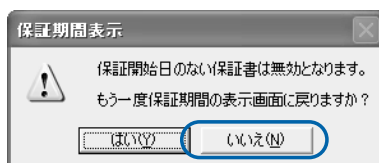
電源を切らずに次のページへ

17 「閉じる」をクリックします。

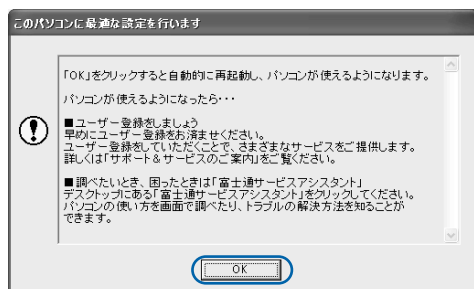


18 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。



19 「OK」をクリックします。



(機種や状況により、一部表示が異なります)

画面がいったん暗くなり、パソコンの再起動が始まります。

次の画面が表示されるまで少し時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

20 画面が表示されたことを確認します。



このあとは、指紋認証を使うための準備をします。

指紋認証を使用する場合は、「指紋認証を使う」(●▶P.57)をご覧ください。
 指紋認証を使用しない場合は、「スタート」→「Softex」→「OmniPass のアンインストール」をクリックし、画面の表示に従ってソフトウェアを削除してください。
 ソフトウェアを再インストールする場合は、『FMV 活用ガイド』→「パソコンをご購入時の状態に戻す (リカバリ)」→「ソフトウェア名を選んでインストールする」をご覧ください。

サービスアシスタントの起動・終了方法

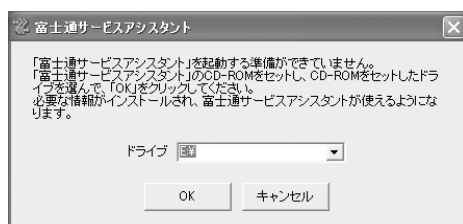
サービスアシスタントは、パソコンの操作でわからないことがあったとき、困ったときにご覧ください。ここでは、サービスアシスタントを一度起動・終了してみます。

21 画面にある をクリックします。

POINT

「「富士通サービスアシスタント」を起動する準備ができていません。」というメッセージが表示されたときは

このパソコンに添付されている⑤「富士通サービスアシスタント」のCD-ROMをセットし、画面のメッセージに従ってインストールしてください。

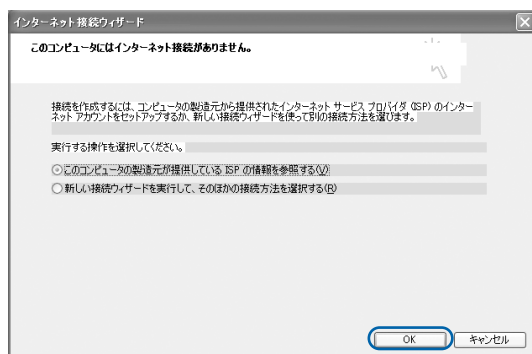


機種を選択する画面が表示されたときは

別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（●▶P.20）をご覧ください。

22 次の画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

インターネット接続の設定は後で行います。ここではインターネットに接続しません。



POINT

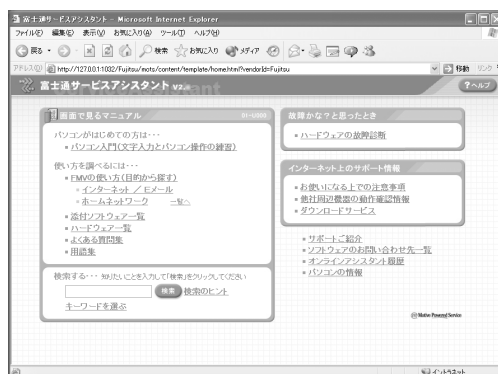
最新のサポート情報をインターネットでご案内しています

サービスアシスタントには、インターネットを使って最新のサポート情報を表示する機能があります。この機能はインターネット接続の設定を行うと利用できるようになります。セットアップが最後まで終わってから、「インターネットを始めるための準備をする」（●▶P.49）をご覧ください。

23 ウィンドウの右上にある をクリックします。



24 サービスアシスタントが起動します。



これがサービスアシスタントのトップ画面です。「ヘルプ」をクリックすると詳しい使い方がわかります。

25 続けてセットアップを行うので、サービスアシスタントのトップ画面で をクリックし、サービスアシスタントを終了します。



POINT

これ以降サービスアシスタントを起動するには

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリックしてください。手順 22～23 の画面は、サービスアシスタントを初めて起動したときだけ表示されます。

続いて、電源の切り方と入れ方を覚えましょう（▶P.44）。

2 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

⚠ 注意



- ・ CD や DVD を取り出す場合は、CD/DVD ドライブのトレイに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

電源を切る

必ず、次の手順で Windows の終了処理を行ってください。Windows の終了処理を行うと、自動的に電源が切れます。

1 それまで行っていた作業を終了します。

ソフトウェアを起動している場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。

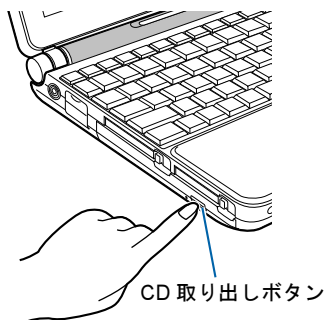
例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

POINT

ソフトウェアを終了しなかった場合

ソフトウェアを起動したままこれ以降の操作を進めると、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤操作の原因となるので、あらかじめソフトウェアを終了してください。

2 CD、DVD がセットされていたら取り出します。

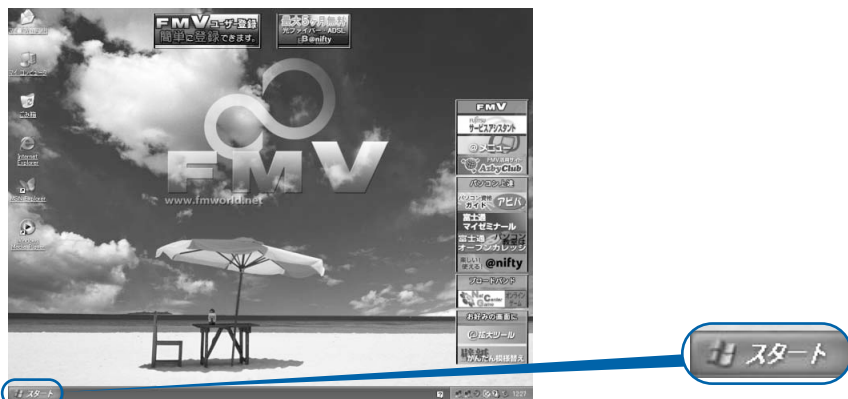


POINT

CD や DVD を入れたままだと

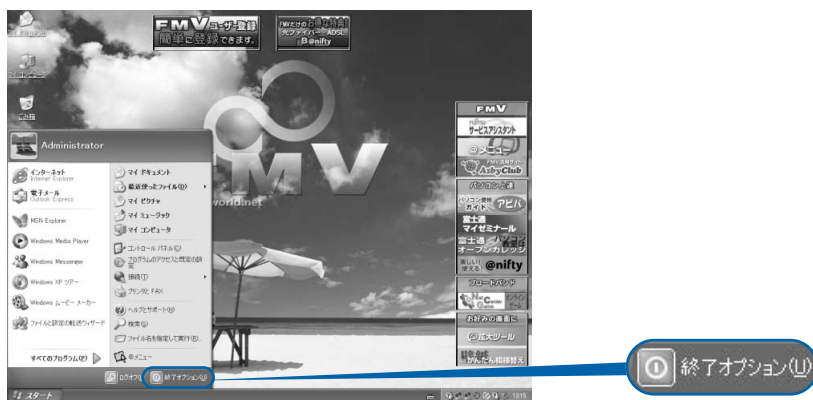
パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD は取り出せません。

3 「スタート」ボタンをクリックします。

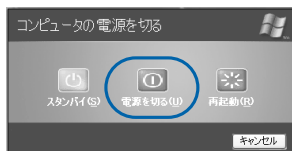


(これ以降の画面は、機種や状況により異なります)

4 「終了オプション」をクリックします。



5 「電源を切る」をクリックします。



しばらくすると Windows が終了し、パソコンの電源が自動的に切れます。

POINT

電源が切れない場合

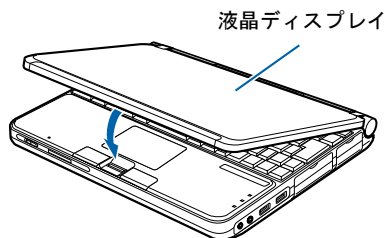
パソコンが動かなくなり（フラットポイントやキーボードが操作できないなど）、電源が切れないときは、次のように操作してください。

[Ctrl] と **[Alt]** を押しながら **[Delete]** を押してソフトウェアを強制終了し、その後で電源を切ってください。ソフトウェアの強制終了については、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。

強制終了もできないときは、パソコン本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的に電源を切ってください。

次のページへ

6 液晶ディスプレイを閉じます。

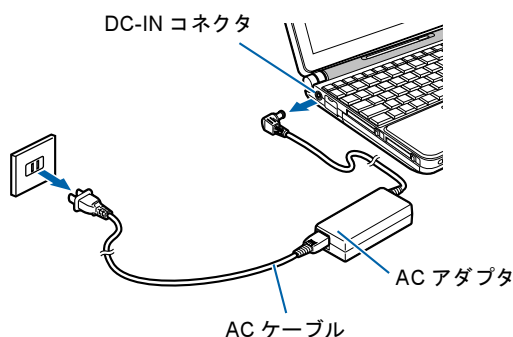


液晶ディスプレイは静かに閉じてください

閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。


AC アダプタの取り外しについて

パソコン本体を持ち運ぶときや、周辺機器の取り付け・取り外しをするとき、パソコンを長時間使わないときは、必ず、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜き、AC アダプタを DC-IN コネクタから取り外します。



パソコン使用中に AC アダプタを取り外すときの注意

パソコンを使っている途中で AC アダプタを取り外し、バッテリーでパソコンを使うときは、バッテリーが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリーが充電されていない場合がありますので、ご注意ください。

確認方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「バッテリーで使う」→「バッテリー残量を確認する」をご覧ください。

パソコンを使っていないときにバッテリーを充電するには

パソコンを使っていないときにバッテリーを充電するには、電源を切った後、AC アダプタを取り付けたままにしてください。

続いて、電源の入れ方を覚えましょう (→P.47)。

電源を入れる

重要


電源を入れるときの注意

- ・電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
- ・長時間お使いになるときや通信をするときなど、大量の電力を消費する作業を行うときは、バッテリー切れによるデータ消失などを防ぐため、AC アダプタを取り付けることをお勧めします。

バッテリーで使うときの注意


次の場合は、バッテリーが充電されていないことがあります。バッテリー残量を確認し、必要に応じてバッテリーを充電してください。

- ・パソコンをご購入のとき
- ・約 1 ヶ月以上充電していないとき

バッテリー残量の確認方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「バッテリーで使う」をご覧ください。

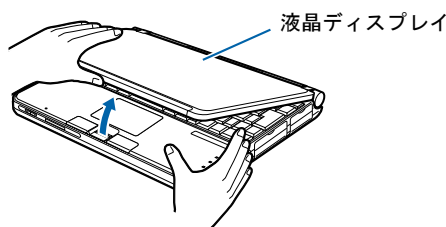
電源が入っているときは、こんな使い方はしないでください (放熱が妨げられます)

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブで「ポータブルコンピュータを閉じたとき」を「何もしない」に設定した場合は、パソコンの液晶ディスプレイを閉じないでください。

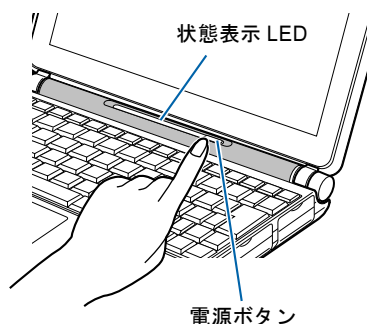
詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「各種設定」→「省電力機能を設定する」をご覧ください。

1 液晶ディスプレイを開きます。

パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。



2 電源ボタンを押します。



電源ボタンが点灯します。そのまましばらくお待ちください。

重要

電源ボタンは短く押してください

電源ボタンは、4 秒以上押し続けると通常とは違う特別な動きをします（パソコンの電源が切れるので、作成中のデータが失われることがあります）。

3 このような画面が表示されたことを確認します。




（画面は機種や状況により異なります）

POINT

Windows が起動しない場合

バッテリー残量が少ないと電源を入れても Windows が起動しないことがあります。次の点を確認してください。

- ・ AC アダプタを取り付けているとき
AC アダプタが正しく取り付けられているかを確認してください。
「AC アダプタを接続する」（●▶P.26）
- ・ バッテリーで使うとき
バッテリーの残量が十分にあるかを確認し、足りなければ AC アダプタを取り付けてください。

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンが起動しない、画面に何も映らない [BIBLO]」をご覧ください。

3 インターネットを始めるための準備をする

このパソコンでインターネットやオンラインユーザー登録を利用するためには、インターネットに接続するための準備が必要です。

なお、初めてインターネットに接続する前には、ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。

初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策

ここでは、ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る対策について紹介します。初めてインターネットに接続する前に必ずお読みください。

お客様のパソコンは、お客様自身の責任でウイルスなどから守っていただく必要があります。マニュアルで紹介する対策を参考にし、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に保つなど常にセキュリティに気を配って、より安心してパソコンを使えるようにしましょう。

セキュリティ対策の流れについて

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。

最近では、インターネットに接続するだけで感染するウイルスなどもありますので、モデムやLANなどの通信回線に接続してインターネットやオンラインユーザー登録をはじめる前に、次の手順に従って Windows やソフトウェアなどを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

ここでは、セキュリティ対策の流れについて説明します。

Step1 インターネットに接続する前に「インターネット接続ファイアウォール (ICF)」を有効にする

何の対策もせずインターネットに接続してしまうと、ウイルスに感染するなどの危険があります。

Windows XP には「インターネット接続ファイアウォール (ICF)」という標準機能があり、インターネットに接続するパソコンを保護することができます。

まず、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしましょう。

詳しくは、『F MV 活用ガイド』→「パソコンは自分自身で守ろう」→「ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る」→「Windows XP のインターネット接続ファイアウォールを利用する」をご覧ください。


Step2 インターネットに接続する

Step3 「Windows Update」を実行する

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるためのマイクロソフト社が提供するサポート機能です。

「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策（パッチをあてると言います）もされます。


ここでは、「Windows Update」の中の「重要な更新」をインストールします。

詳しくは、『FIMV 活用ガイド』→「パソコンは自分自身で守ろう」→「ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る」→「「Windows Update」を実行する」をご覧ください。

Step4 「インターネット接続ファイアウォール (ICF)」を無効に戻す


「インターネット接続ファイアウォール (ICF)」を有効にしておくと、より安全性が高まりますが、一部のソフトウェアの機能が制限される可能性もあります。

パソコンを最新の状態にしたので、ここでは無効に戻します。

詳しくは、『FIMV 活用ガイド』→「パソコンは自分自身で守ろう」→「ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る」→「Windows XP のインターネット接続ファイアウォールを利用する」をご覧ください。

実際にセキュリティ対策するには



「セキュリティ対策の流れについて」で説明した内容は、インターネットに接続するための設定をする中で、同時に行います。

次の「インターネットに接続するには」(P.50) をご覧ください。

インターネットに接続するには

インターネットの接続方法には、一般的に次の方法があります。

- ・ 一般の電話回線 (アナログ)
- ・ ISDN
- ・ 携帯電話・PHS
- ・ ADSL
- ・ ケーブルテレビ (CATV)
- ・ 光ファイバー (FTTH)

それぞれの設定方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「インターネット／Eメール」→「接続の設定」をご覧ください。設定の手順の中で「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」(P.49) で説明したセキュリティ対策の方法も説明されています。

また、各プロバイダや回線事業者から提供される書類や、各機器のマニュアルを必ずご覧ください。



ブロードバンド・インターネットをご利用の方は、まだケーブルをつながないでください

ブロードバンド・インターネットでは、多くの場合、インターネット用の回線とパソコンをケーブルで接続するだけで、インターネットに接続されてしまいます。

ケーブル類の接続を完了する前に、必ず「初めてインターネットに接続する前のセキュリティ対策」(●▶P.49)を参考にして、「インターネット接続ファイアウォール (ICF)」を有効にしてください。

内蔵モデムで長時間インターネットに接続する場合

ソフトウェアを起動したままインターネットに長時間接続していると、パソコンの CPU に高い負荷がかかり、内蔵モデムでの通信が切断される場合があります。このような場合は、ブラウザやメールソフト以外のソフトウェアを終了してからもう一度インターネットに接続してください。

インターネットに接続したら


今後も、いつ新たなウイルスなどが出現するかわかりません。「Windows Update」を日常的に行うなどの日々のセキュリティ対策を心がけましょう。

セキュリティソフト「Norton Internet Security」を使う

このパソコンには、「Norton Internet Security」というセキュリティソフトが用意されています。「Norton Internet Security」を使うと、パソコンをウイルスや不正アクセスから守ることができます。使うためには、「@メニュー」からの起動が必要です。

「Norton Internet Security」については、『FMV 活用ガイド』→「パソコンは自分自身で守ろう」→「ウイルスや不正アクセスからパソコンを守る」→「セキュリティソフトを使う」をご覧ください。

4 ユーザー登録をする

インターネットの接続が終わったら、パソコンの画面上でユーザー登録を行います。ユーザー登録とは、FMVユーザーとしてお客様の情報、およびご購入されたFMVの機種情報を弊社に登録していただくことを言います。詳しくは、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

ユーザー登録をするとご利用になれるサービス

ユーザー登録をすると、自動的に「FMV ユーザーズクラブ AzbyClub（アズビィクラブ）」の会員としても登録され、次のようなサービスをご利用いただけます。AzbyClubとは、お客様にFMVを快適にご利用いただくための会員組織です。入会金、年会費は無料です（2年目以降も無料）。

■ FMV 活用サイト AzbyClub ホームページ

お客様がお使いのパソコンに関する最新情報や、活用情報が満載です。また、会員向けのショッピングサービスやお得なキャンペーン情報もご紹介します。
<http://azby.fmworld.net/>

■ 技術相談窓口 Azby テクニカルセンター

AzbyClub 会員専用の技術相談窓口です。電話やEメールによるサポートをご利用いただけます。サポートツール「サービスアシスタント」、紙のマニュアル、AzbyClub ホームページで確認しても、問題が解決できない場合、技術相談を受けられます。

■ サービスアシスタント

サポートツール「サービスアシスタント」で、インターネット上の最新の製品情報を検索できるサービスや、サポート担当者とメッセージ交換できる、オンラインアシスタント機能をご利用いただけます。

■ AzbyClub メール配信サービス

お客様がお持ちのメールアドレスをAzbyClubに登録していただくと、お役立ち情報満載の「AzbyClub メール配信サービス」をご利用いただけます。

■ AzbyClub ポイントサービス

AzbyClub 会員専用のポイントサービスです。AzbyClub ホームページやWEB MARTでご利用いただけます。

■ AzbyClub カード

ユーザー登録番号（AzbyClub 会員番号）が刻印された、お得な特典いっぱいのカードです。入会費・年会費ともに無料です。

パソコンの画面上でユーザー登録する

パソコンの画面上でユーザー登録を行う方法には、次の2種類があります。

■ ホームページからのユーザー登録

インターネットの FMV ユーザー登録専用のホームページからユーザー登録を行います。

■ 専用プログラムによるユーザー登録

「FMV オンラインユーザー登録」というユーザー登録専用プログラムでユーザー登録を行います。

5 準備が完了したら

ここまでの作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

パソコンの準備はすべて完了していますか？

これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

1 「機種名を確認してください」 (●▶P.20)

お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。

2 「使用上のお願い」 (●▶P.21)

このパソコンの取り扱いにあたっての大切な注意事項です。確認してください。

3 「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」 (●▶P.30)

初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。

4 「電源の切り方と入れ方」 (●▶P.44)

必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。

5 「インターネットを始めるための準備をする」 (●▶P.49)

お客様の環境にあった接続方法を選択し、セキュリティ対策を行ってください。

6 「ユーザー登録をする」 (●▶P.52)

パソコンの画面上でユーザー登録を行います。

パソコンの準備が完了したら『F M V 活用ガイド』へ

パソコンの準備が完了したら、『F M V 活用ガイド』をお読みください。『F M V 活用ガイド』では、パソコンをお使いになる前に確認していただきたいこと、覚えておくと便利なこと、情報の探し方やトラブルの対処法など、F M V を活用するためのさまざまな情報を紹介しています。

『F M V 活用ガイド』の主な内容

第1章 使いはじめる前に確認しよう

パソコンの準備がすべて完了しているか、この章で再度確認します。

第2章 基本的な使い方を覚えよう

パソコンの基本操作、ホームページの見かたや E メールの基本操作がわかります。

第3章 パソコンは自分自身で守ろう

大切なデータの予備をとる（バックアップする）方法や、ウイルスなどからパソコンを守るセキュリティ対策について説明しています。

第4章 F M V のおすすめ活用法

F M V に搭載されているソフトウェアを使ってできる、楽しい活用法を紹介しています。また、周辺機器の取り付けや、F M V を最新の状態にするなど、F M V をパワーアップするためのヒントも紹介しています。

第5章 パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

パソコンを使いこなすための情報がある、「パソコンの画面で見るマニュアル」の使い方や調べ方を説明しています。

第6章 パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

ハードディスクを初期状態に戻し、Windows やソフトウェアをご購入時の状態に戻す方法を説明しています。

第7章 トラブルかなと思ったら

電源が入らないトラブル・画面が表示できないトラブルを中心に、パソコンを使っていて困ったときの対処法を説明しています。

第8章 廃棄・リサイクルについて

このパソコンや使用済み乾電池・バッテリーを廃棄するときの注意事項などが書かれています。また、破棄する前に、ハードディスクのデータを消去する方法も説明しています。



テレビの操作を知りたいときは📖『テレビを見る・録る・残すガイド』へ

このパソコンでテレビを見たり、番組を録画したりする方法については、📖『テレビを見る・録る・残すガイド』をご覧ください。このパソコンでテレビを見る前に確認していただきたいこと、具体的なテレビの利用方法やトラブル時の対処方法について紹介しています。

📖『テレビを見る・録る・残すガイド』の主な内容

第1章 このパソコンでできること

第2章 準備をする

第3章 テレビを見る

第4章 番組表を使う

第5章 テレビを録る

第6章 録ったテレビを再生する

第7章 昔録ったビデオテープをパソコンにダビングする

第8章 録ったテレビを DVD に残す

第9章 こんなこともできます

第10章 困ったときの Q&A



ワイヤレス LAN をお使いになる場合

ワイヤレス LAN の設定は、固有のユーティリティを使用します。Windows XP のプロパティでは設定できませんのでご注意ください。

ユーティリティを使用した設定方法については、ワイヤレス LAN に添付のマニュアルまたはパソコン本体の「画面で見るマニュアル」に登録されている「ワイヤレス LAN をお使いになる方へ」をご覧ください。

この後の章では、各部名称 (●▶P.69) や仕様一覧 (●▶P.77)、メモリの増やし方 (●▶P.84) などが記載されています。目的に合わせてお読みください。

4

第 4 章

指紋認証を使う

指紋認証を使うための準備や、指紋認証を使った Windows のログイン方法について説明しています。

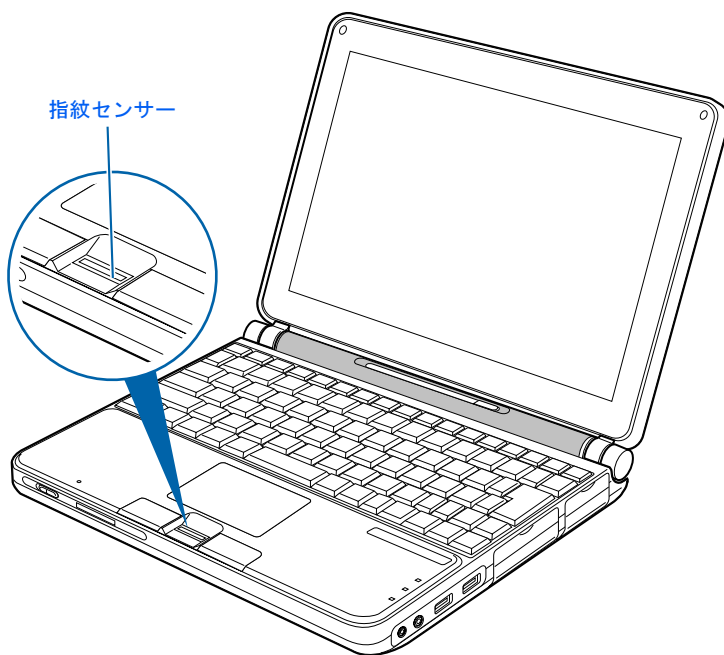
1 指紋認証を使う準備をする	58
----------------------	----

1 指紋認証を使う準備をする

ここでは、初めて指紋認証を使うときに行う準備について説明します。

指紋認証を使うと、ID やパスワードを入力する代わりに、指紋センサーに指をスライドさせるだけで Windows にログオンしたり、セキュリティの設定がされているホームページにアクセスしたりできるようになります。

また、指紋認証は、省電力状態（スタンバイ）から復帰するときや、パスワードが設定されたスクリーンセーバーを解除するときにも使用できます。



Windows のパスワードを作成する

指紋認証では、Windows にログオンするときと同じユーザー名およびパスワードを認証の情報として使用します。指紋を登録する前に、必ず Windows のパスワードを作成してください。



Windows のユーザー名を変更しないでください

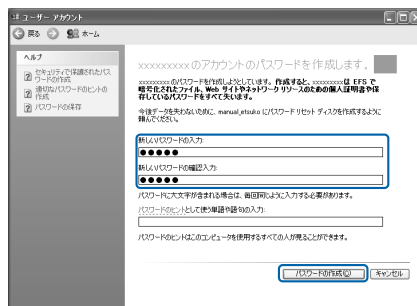
Windows にログオンするときのユーザー名は変更しないでください。ユーザー名を変更すると、指紋認証を使って Windows にログオンできなくなります。変更した場合は、Windows のユーザー名を変更前のユーザー名に戻してください。

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリックし、「ユーザーアカウント」をクリックします。
- 2 「変更するアカウントを選びます」から、**Windows** にログオンするときと同じユーザー名をクリックします。
- 3 「パスワードを作成する」をクリックします。



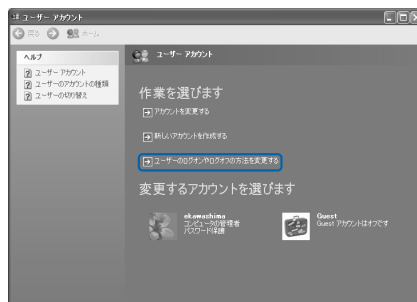
4

- 4 「新しいパスワードの入力」、「新しいパスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「パスワードの作成」をクリックします。



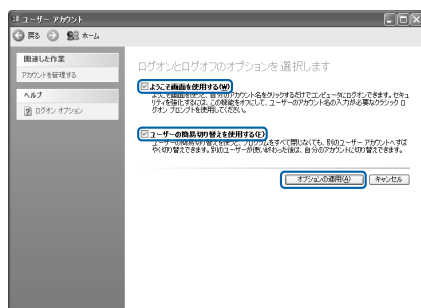
- 5 ウィンドウの右上にある **✕** をクリックして、ウィンドウを閉じます。
Windows XP Professional の場合は、パソコンを再起動してください。再起動後、手順 1 の操作を行ってください。


- 6 「ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する」をクリックします。



次のページへ

- 7 「ようこそ画面を使用する」と「ユーザーの簡易切り替えを使用する」の ☐ をクリックして ☒ にし、「オプションの適用」をクリックします。



- 8 ウィンドウの右上にある  をクリックして、すべてのウィンドウを閉じます。

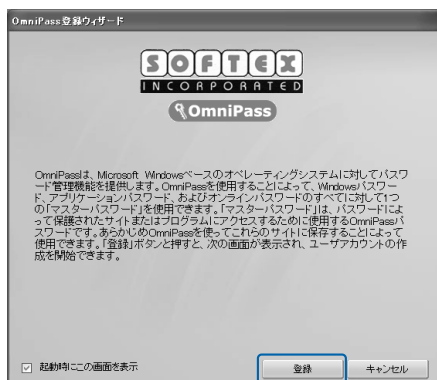
- 9 「スタート」ボタン→「終了オプション」をクリックし、「再起動」をクリックします。
パソコンが再起動します。

再起動後、Windows にログオンするときには、設定したパスワードを入力してください。

指紋を登録する

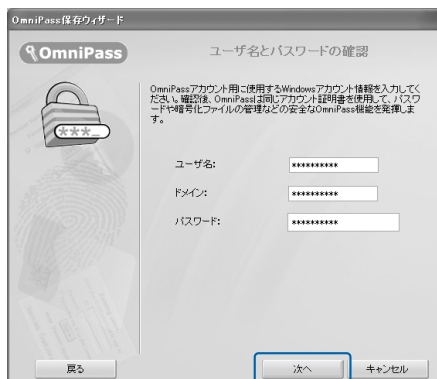
画面に表示されている「OmniPass 登録ウィザード」から、認証に必要な情報を登録します。
指紋を登録する前に、必ず Windows のパスワードを作成しておいてください。

- 1 「登録」をクリックします。



2 Windows にログオンするときと同じパスワードを「パスワード」に入力し、「次へ」をクリックします。

「ユーザ名」が Windows にログオンするときと同じことを確認してください。



Windows のパスワードを設定していない場合

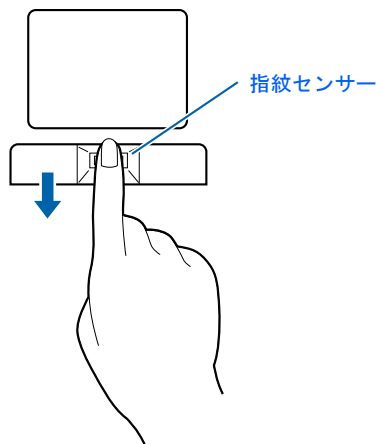
Windows にログオンするときに、パスワードを使用するように設定してください。認証の情報には、Windows でログオンするときと同じユーザ名およびパスワードを使用します。Windows のパスワードの作成については、「Windows のパスワードを作成する」(●▶P.58)をご覧ください。

3 認証で使用する指をイラストで選択し、「次へ」をクリックします。



4 指紋の読み取りが始まります。画面の表示にしたがって指紋の読み取りを行ってください。

指紋が正常に読み取れた場合にはイラストが緑色に、読み取れなかった場合にはイラストが赤色に表示されます。



POINT

指紋の読み取りがうまくいかない場合

指紋センサーに指をスライドさせる方法を確認してください。スライドの方法については、「指のスライドのさせ方」(●▶P.66)をご覧ください。

5 「確認は成功しました」と表示されたら、「次へ」をクリックします。

確認がうまくいかなかった場合には、「戻る」をクリックし、もう一度指紋の読み取りを行ってください。

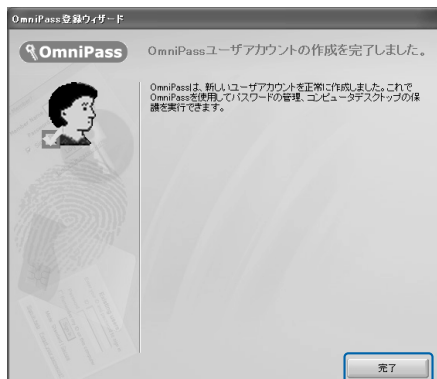
6 「もう1本の指を登録することを推奨します。」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

手順3の操作に戻り、1指目以外の指紋を登録してください。2指以上の指紋を登録したら、「いいえ」をクリックします。

7 「次へ」をクリックします。



8 「完了」をクリックします。




9 「新規ユーザーでログオンしますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

これで指紋の登録は完了です。

重要

Windows のパスワードを変更した場合


Windows のパスワードを変更した場合には、登録した認証の情報を一度削除して、もう一度指紋の登録を行う必要があります。登録した情報の削除と再登録については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「指紋認証を使う」をご覧ください。

複数ユーザーで指紋認証を使う場合には

ユーザーごとに Windows のアカウントを作成してから指紋を登録してください。指紋認証で使用する情報は、Windows のユーザー名、パスワードを使用します。ユーザーアカウントの作成については、Windows のヘルプをご覧ください。

POINT

指紋認証を使ってネットワークへアクセスするには

ID やパスワードを入力する代わりに、指紋認証を使ってネットワークへアクセスする方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「指紋認証を使う」をご覧ください。

Windows にログインする

指紋認証を使うとパスワードを入力する代わりに、指紋センサーに指をスライドさせるだけで Windows にログインできるようになります。

また、複数ユーザーでパソコンを使用している場合には、ユーザー選択も省略することができます。

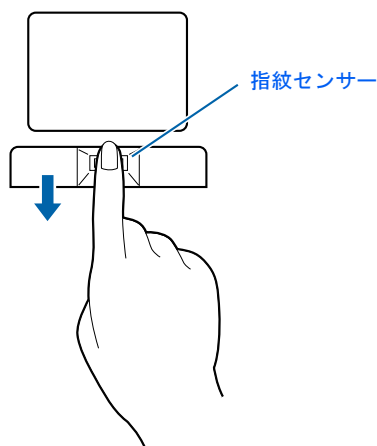
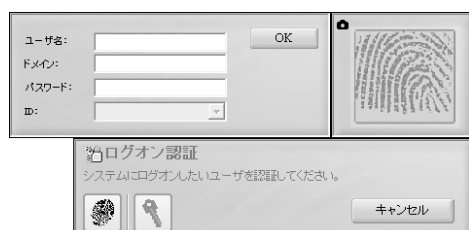
指紋による認証を行う

1 電源ボタンを押します。

パソコンが起動すると「ログオン認証」画面が表示されます。

2 指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。

指紋の認証に成功すると、Windows にログインします。



POINT

指紋の読み取りがうまくいかない場合

指紋センサーに指をスライドさせる方法を確認してください。スライドの方法については、「指のスライドのさせ方」(●▶P.66)をご覧ください。

指紋認証がうまくいかない場合はパスワードによる認証を行ってください

指紋認証を 5 回連続して失敗した場合には、パスワードを使って Windows にログインしてください。パスワードによる認証については、「パスワードによる認証を行う」(●▶P.65)をご覧ください。

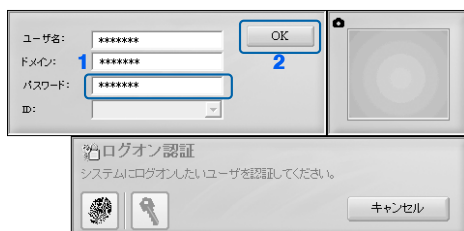
パスワードによる認証を行う

1 電源ボタンを押します。

パソコンが起動すると「ログオン認証」画面が表示されます。

2 「ユーザ名」を確認し、1「パスワード」を入力して 2「OK」をクリックしてください。

Windows にログオンします。



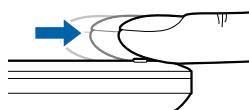
指のスライドのさせ方

指紋の登録や認証を行う場合、センサーの左右にある突起を結んだ線上に第 1 関節を合わせ、指をスライドさせながらセンサーに指を接触させて、再度センサーが見えるまで下の方へスライドさせてください。

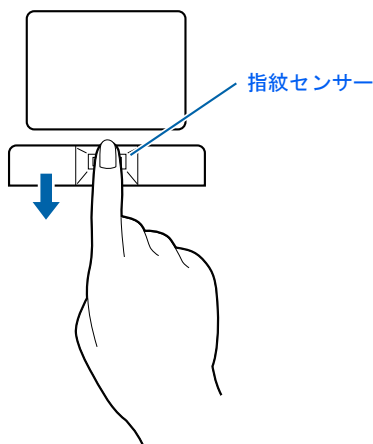
また、指紋センサーに指をスライドさせるときは、指をセンサーに突き立てるのではなく、センサーと平行になるように押し当てながらスライドさせてください。

登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を減らすことができます。

《横》



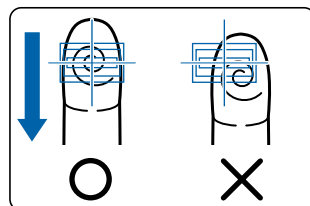
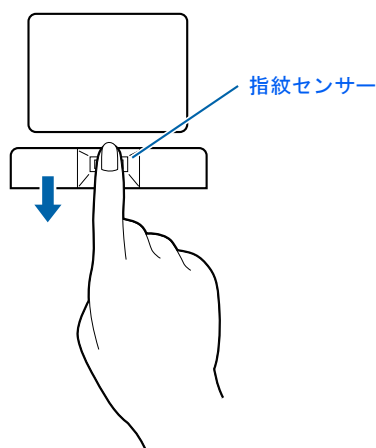
《上》



POINT

指紋の渦の中心を確認してスライドさせてください


親指などでは、指紋の渦の中心が大きくずれたり歪んだりすることがあります。この場合、登録が困難になったり、認証率が低下したりすることがあります。指紋の登録や認証を行う場合には、指紋の渦の中心を確認して、渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにセンサー上をスライドさせてください。



指紋の読み取りがうまくいかない場合

指のスライドが速すぎたり遅すぎたりした場合、正常に認識できないことがあります。画面のメッセージに従って、スライドの速さを調節してください。

指紋センサーについての注意

- ・「ログオンの認証」が表示されなくなったり、指紋センサーが使えなくなったりした場合には、BIOS の設定をご確認ください。BIOS については  (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「BIOS セットアップの操作のしかた」をご覧ください。
- ・次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
 - 指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりした場合
 - 指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦り、センサー表面にキズが入った場合
 - 泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などでセンサー表面にキズが入ったり、表面が汚れたりした場合
 - 指紋センサーのセンサー部にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりした場合
- ・次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証率が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - 指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
 - 指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
 - 指紋センサー表面が結露している
- ・次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面の清掃を行ってください。現象が改善されることがあります。
 - 「センサー表面の汚れを取り除いてください」が表示される
 - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- ・指紋センサーを清掃する際には、メガネ拭きなどの乾いたやわらかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。
- ・指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。
- ・長期間使用することにより、センサー周辺にゴミがたまる場合がありますが、先のとがったもので取り除かないようにしてください。

指紋認証をお使いになる場合の注意

- ・ 本機能は指紋画像の特徴情報を認証するものです。このため、お客様によっては指紋の特徴情報が少なく、登録操作ができない場合があります。
- ・ 指紋の登録には同一の指で 3 回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行うと、認証できない場合があります。
- ・ 指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される割合）が低下することがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証時の状況が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけている場合
 - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている場合
 - 手が荒れたり、指に損傷（切傷、ただれなど）を負っている場合
 - 手が極端に乾燥していたり、乾燥肌の場合
 - 指が泥や油などで汚れている場合
 - 太ったり、やせたりして指紋が変化した場合
 - 磨耗して指紋が薄くなった場合
 - 指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に異なる場合
 - 濡れたり、汗をかいたりしている場合
- ・ センサー表面が濡れていたり結露していたりすると、誤作動の原因となります。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。
- ・ 認証率はおお客様の使用状況により異なります。
- ・ 各指で指紋が異なりますので、必ず登録を行った指で認証の操作を行ってください。
- ・ 指紋が正常に読み取れなかったときや、一定時間内に認証されなかったときは、警告メッセージが表示されます。
- ・ 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保障するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

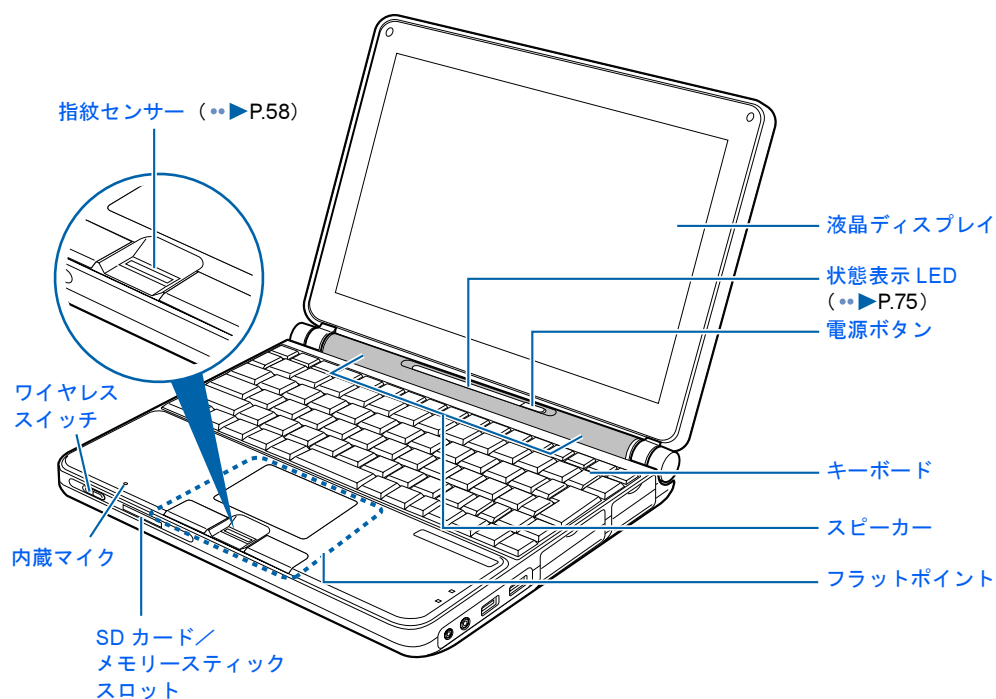
5


第 5 章 各部名称

パソコンの各部の名称について説明しています。

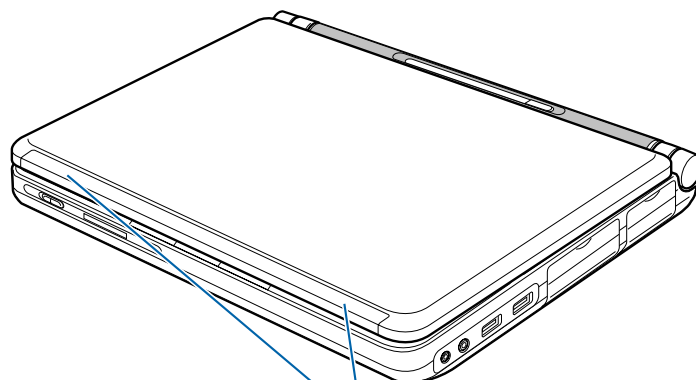
1	パソコン本体前面	70
2	パソコン本体上面	71
3	パソコン本体側面	72
4	パソコン本体背面	73
5	パソコン本体下面	74
6	状態表示 LED	75

1 パソコン本体前面




詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。

2 パソコン本体上面



内蔵ワイヤレス LAN アンテナ

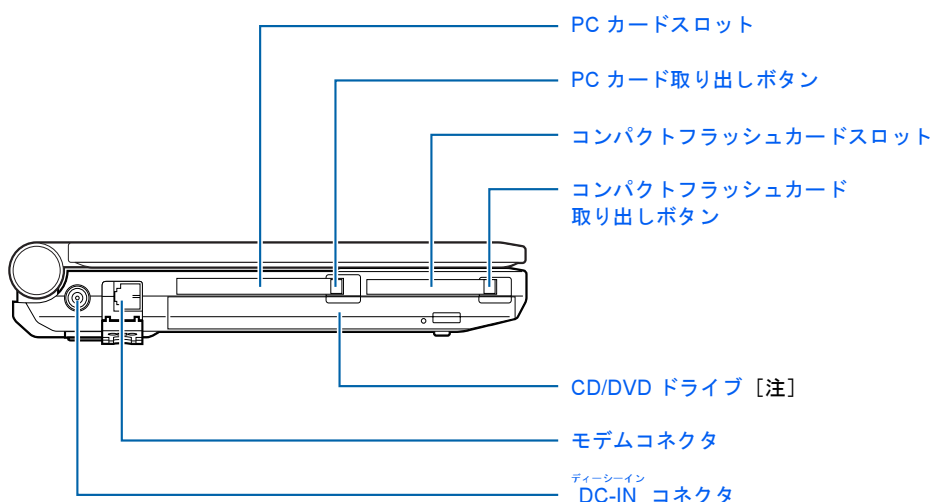
詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体上面」をご覧ください。

5

3 パソコン本体側面

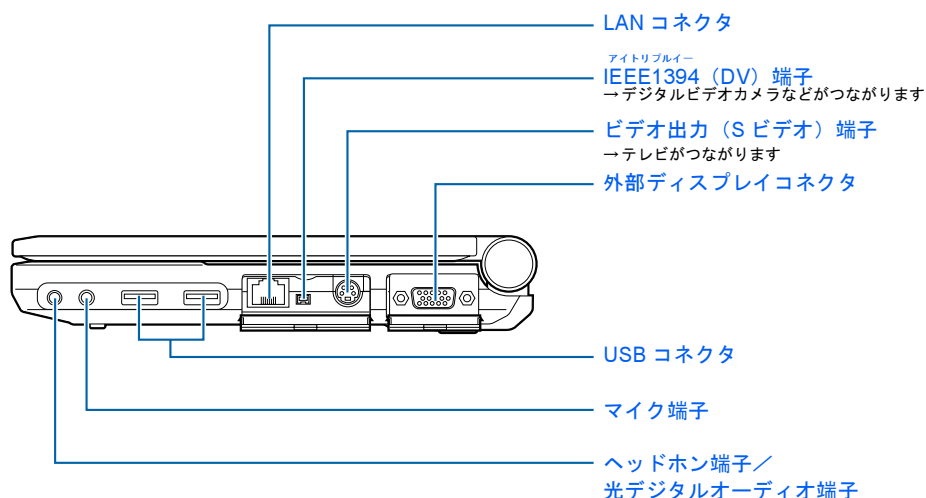
機種名の調べ方は「機種名を確認してください」(●▶P.20)をご覧ください。


パソコン本体左側面



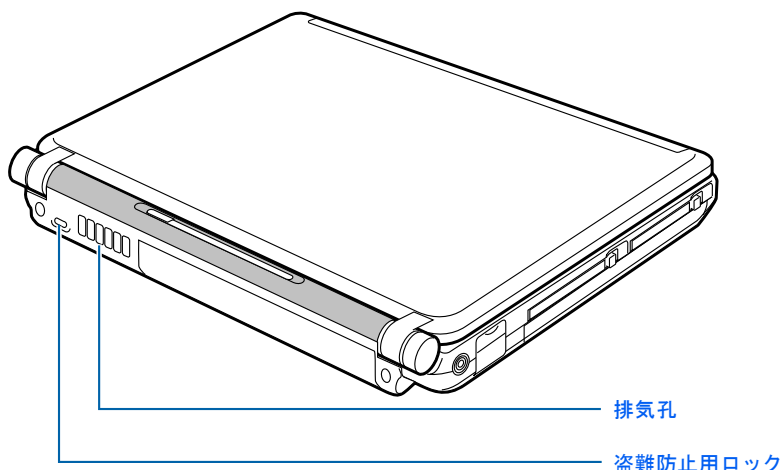
注 : イラストは機種や状況により異なります。
LT70H をお使いの方は、内蔵 DVD マルチドライブになります。
LT50H をお使いの方は、内蔵 CD-RW/DVD-ROM ドライブになります。
LT70HN をお使いの方は、選択したドライブにより、次のいずれかになります。
・内蔵 CD-RW/DVD-ROM ドライブ
・内蔵 DVD マルチドライブ


パソコン本体右側面



詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「FMV の使い方」 → 「基本機能」 → 「各部の名称と働き : パソコン本体側面」をご覧ください。

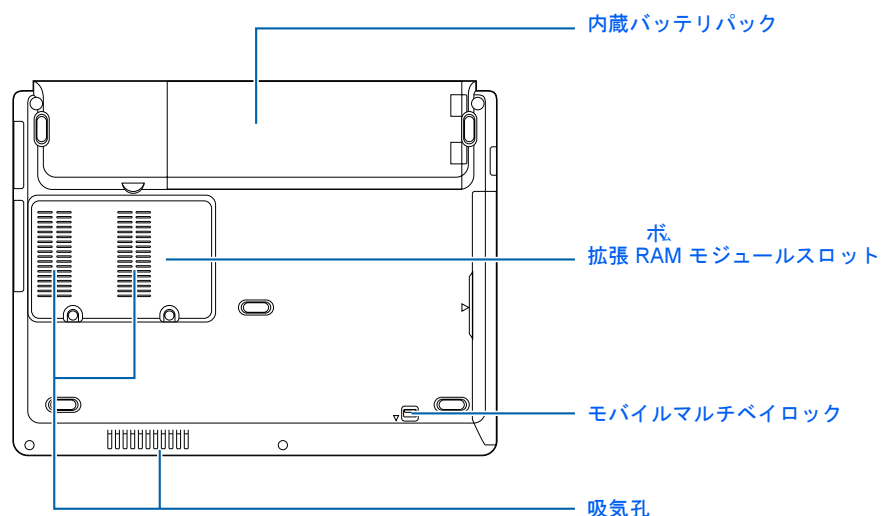
4 パソコン本体背面




詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」をご覧ください。

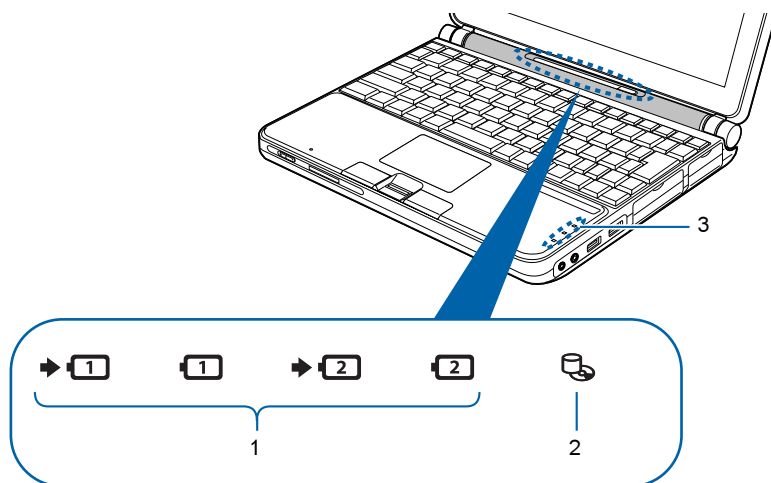
5

5 パソコン本体下面



詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体下面」をご覧ください。


6 状態表示 LED




(イラストは機種や状況により異なります)


1 バッテリー装着表示ランプ

(➡, )


• バッテリー充電表示ランプ (➡)


• バッテリー残量表示ランプ ()


2 ハードディスク／

CD アクセスランプ ()
ニューメリカルロック

3 Num Lock ランプ ()

キャップスロック
 • Caps Lock ランプ ()
スクロールロック

• Scroll Lock ランプ ()

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「FMV の使い方」→「基本機能」→「各部の名称と働き：状態表示 LED」をご覧ください。

6

第 6 章 仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	78
-------------------	----

1 パソコン本体の仕様

製品名称		F M V-BIBLO LOOX T70H	F M V-BIBLO LOOX T50H
CPU 注1		超低電圧版 インテル® Pentium® M プロセッサ 1.10GHz	超低電圧版 インテル® Celeron® M プロセッサ 900MHz
キャッシュメモリ		1次：64KB、2次：1024KB（CPU内蔵）	1次：64KB、2次：512KB（CPU内蔵）
チップセット		インテル® 855GME チップセット	インテル® 852GM チップセット
システムバスクロック		400MHz	
メインメモリ		標準 256MB（PC2700 DDR SDRAM） ECC なし最大 1GB 注2	標準 256MB（PC2100 DDR SDRAM） ECC なし最大 1GB 注2
拡張メモリスロット注3		×2（空スロット×1）注3	
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵	
	ビデオメモリ	最大 64MB（メインメモリと共用）注4	
	液晶ディスプレイ注5	高輝度 10.6型ワイド TFT カラー 1280 × 768 ドット（スーパーファイン液晶）	
	解像度／発色数	液晶ディスプレイ表示：1280 × 768 ドット／1677 万色注6 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示： 1024 × 768 ドット／1677 万色注6	
フロッピーディスク ドライブ注7		FDD ユニット（USB）（別売）注8	
ハードディスクドライブ注9		80GB（Ultra ATA/100）	60GB（Ultra ATA/100）
CD/DVD ドライブ注10		DVD マルチドライブ	CD-RW/DVD-ROM ドライブ
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック	
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビット ステレオ、同時録音再生対応	
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート	
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵	
キーボード		OADG 配列準拠 86 キー（Windows キー、アプリケーションキー付）	
ポインティングデバイス		フラットポイント	
指紋センサー		スライド方式	
通信機能	モデム	データ：最大 56kbps（V.92 規格準拠）注11 / FAX：14.4kbps	
	LAN	100BASE-TX / 10BASE-T 準拠	
	ワイヤレス LAN	IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」（●▶P.82）

製品名称		F M V-BIBLO LOOX T70H	F M V-BIBLO LOOX T50H
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 1 スロット (CardBus 対応)	
	SD カード/ メモリースティック ^{注12}	× 1 スロット (メモリースティック PRO 対応)	
	コンパクトフラッシュ カード	CF+ and CompactFlash Specification Revision1.4 準拠 TYPE I / TYPE II × 1 スロット	
	外部ディスプレイ/ ビデオ出力	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 / S ビデオ× 1 (NTSC 出力)	
	USB ^{注13}	USB2.0 準拠× 2	
	IEEE1394 (DV) ^{注14}	4 ピン× 1 (S400)	
	モデム	RJ-11 × 1	
	LAN	RJ-45 × 1	
	オーディオ	ヘッドホン: φ3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力: 1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω) / 光デジタルオーディオ出力: 丸形・光ミニジャック、 マイク: φ3.5mm ミニジャック (入力: 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上) 内蔵マイク (モノラル)	
	状態表示	LED	
電源供給方式	モバイルマルチベイ	× 1 (専用コネクタ)	
	AC アダプタ	AC アダプタ入力 AC100V ~ 240V、出力 DC16V (3.75A)	
バッテリー稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 ^{注15})	バッテリー	内蔵バッテリーパック (L): リチウムイオン、10.8V / 4800mAh、 内蔵バッテリーパック: リチウムイオン、10.8V / 2400mAh (別売)	
		約 7.8 時間 (内蔵バッテリーパック (L)) 約 11.7 時間 (内蔵バッテリーパック (L) + 増設用内蔵バッテリーユニット) 約 3.9 時間 (内蔵バッテリーパック) 約 7.8 時間 (内蔵バッテリーパック + 増設用内蔵バッテリーユニット)	約 6.5 時間 (内蔵バッテリーパック (L)) 約 9.4 時間 (内蔵バッテリーパック (L) + 増設用内蔵バッテリーユニット) 約 3.1 時間 (内蔵バッテリーパック) 約 6.5 時間 (内蔵バッテリーパック + 増設用内蔵バッテリーユニット)
バッテリー充電時間 ^{注16}		約 4.1 時間 (内蔵バッテリーパック (L))、 約 6.2 時間 (内蔵バッテリーパック (L) + 増設用内蔵バッテリーユニット) 約 2.6 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 4 時間 (内蔵バッテリーパック + 増設用内蔵バッテリーユニット)	
消費電力 ^{注17}		約 16W / 約 60W	
省エネ法に基づく エネルギー消費効率 ^{注18}		S 区分 0.00023	S 区分 0.00040
外形寸法		W261 × D199 × H32.0 ~ 35.0mm (突起部含まず)	
質量		約 1.33kg (モバイルマルチベ이용カバー搭載時) 約 1.49kg (CD/DVD ドライブユニット搭載時の場合)	
盗難防止用ロック		あり	
温湿度条件		温度 5 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、 温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)	
プレインストール OS		Windows XP Home Edition ^{注21} (DirectX 9.0b 対応)	
サポート OS		Windows XP Home Edition、Windows XP Professional ^{注22}	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」(●▶P.82)

製品名称		F M V-BIBLO LOOX T70HN
CPU 注1		超低電圧版 インテル® Pentium® M プロセッサ 1.10GHz
キャッシュメモリ		1 次 : 64KB、2 次 : 1024KB (CPU 内蔵)
チップセット		インテル® 855GME チップセット
システムバスクロック		400MHz
メインメモリ		標準 256MB (PC2700 DDR SDRAM) ECC なし最大 1GB 注2 注19
拡張メモリスロット注3		× 2 (空スロット× 1) 注3
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	最大 64MB (メインメモリと共用) 注4
	液晶ディスプレイ注5	高輝度 10.6 型ワイド TFT カラー 1280 × 768 ドット (スーパーファイン液晶)
	解像度/発色数	液晶ディスプレイ表示 : 1280 × 768 ドット / 1677 万色注6 外部ディスプレイ表示 : 最大 1600 × 1200 ドット / 最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示 : 1024 × 768 ドット / 1677 万色注6
フロッピーディスク ドライブ注7		FDD ユニット (USB) (別売) 注8
ハードディスクドライブ注9		60GB (Ultra ATA/100) 注20
CD/DVD ドライブ注10		CD-RW/DVD-ROM ドライブまたは DVD マルチドライブ
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビット ステレオ、同時録音再生対応
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵
キーボード		OADG 配列準拠 86 キー (Windows キー、アプリケーションキー付)
ポインティングデバイス		フラットポイント
指紋センサー		スライド方式
通信機能	モデム	データ : 最大 56kbps (V.92 規格準拠) 注11 / FAX : 14.4kbps
	LAN	100BASE-TX / 10BASE-T 準拠
	ワイヤレス LAN	IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」(●▶P.82)

製品名称		F M V-BIBLO LOOX T70HN
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 1 スロット (CardBus 対応)
	SD カード/ メモリースティック ^{注12}	× 1 スロット (メモリースティック PRO 対応)
	コンパクトフラッシュ カード	CF+ and CompactFlash Specification Revision1.4 準拠 TYPE I / TYPE II × 1 スロット
	外部ディスプレイ/ ビデオ出力	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 / S ビデオ× 1 (NTSC 出力)
	USB ^{注13}	USB2.0 準拠× 2
	IEEE1394 (DV) ^{注14}	4 ピン× 1 (S400)
	モデム	RJ-11 × 1
	LAN	RJ-45 × 1
	オーディオ	ヘッドホン: φ3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力: 1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω) / 光デジタルオーディオ出力: 丸形・光ミニジャック、 マイク: φ3.5mm ミニジャック (入力: 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ 以上 (DC) 2kΩ 以上) 内蔵マイク (モノラル)
	状態表示	LED
電源供給方式	モバイルマルチベイ	× 1 (専用コネクタ)
	AC アダプタ	AC アダプタ入力 AC100V ~ 240V、出力 DC16V (3.75A)
		内蔵バッテリーパック (L): リチウムイオン、10.8V / 4800mAh、 内蔵バッテリーパック: リチウムイオン、10.8V / 2400mAh (別売)
バッテリー稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 ^{注15})		約 7.8 時間 (内蔵バッテリーパック (L))、 約 11.7 時間 (内蔵バッテリーパック (L) + 増設用内蔵バッテリーユニット) 約 3.9 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 7.8 時間 (内蔵バッテリーパック + 増設用内蔵バッテリーユニット)
バッテリー充電時間 ^{注16}		約 4.1 時間 (内蔵バッテリーパック (L))、 約 6.2 時間 (内蔵バッテリーパック (L) + 増設用内蔵バッテリーユニット) 約 2.6 時間 (内蔵バッテリーパック)、 約 4 時間 (内蔵バッテリーパック + 増設用内蔵バッテリーユニット)
消費電力 ^{注17}		約 16W / 約 60W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率 ^{注18}		S 区分 0.00023
外形寸法		W261 × D199 × H32.0 ~ 35.0mm (突起部含まず)
質量		約 1.33kg (モバイルマルチベイ用カバー搭載時) 約 1.49kg (CD/DVD ドライブユニット搭載時の場合)
盗難防止用ロック		あり
温湿度条件		温度 5 ~ 35℃ / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、 温度 -10 ~ 60℃ / 湿度 20 ~ 80%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストール OS		Windows XP Professional ^{注21} (DirectX 9.0b 対応) Windows XP Home Edition ^{注21} (DirectX 9.0b 対応)
サポート OS		Windows XP Home Edition、Windows XP Professional ^{注22}

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の注記について」(●▶P.82)

仕様一覧の注記について

- 注 1 ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。
- 注 2 メインメモリを拡張する場合、組み合わせによっては搭載済みのメモリモジュールを取り外し、拡張 RAM モジュールを取り付ける必要があります。
- 注 3 マイクロ DIMM 専用スロットです。
- 注 4 Intel® Dynamic Video Memory Technology (DVMT) により、パソコンの動作状態によって VRAM 容量が変化します。
- 注 5
- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
 - ・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります故障ではありません。
- 注 6 液晶ディスプレイでは、ディザリング機能（擬似的に色を表示する機能）によって、1677 万色で表示されます。
- 注 7 フロッピーディスクは、フォーマットした環境（メーカー、機種、ソフトウェア）によっては、データを読み書きできない場合があります。対応メディアは、2HD (1.44MB, 1.2MB) と 2DD (720KB) です。なお、1.44MB 以外のフォーマットはできません。
- 注 8 FDD ユニット (USB) にセットしたフロッピーディスクからは起動できません。
- 注 9 容量は、1MB=1000²byte、1GB=1000³byte 換算値です。
- 注 10 モバイルマルチペイに搭載しています。
各ドライブの主な仕様は次の通りです。

DVD マルチドライブ	CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 16 倍速、 CD-RW 書込：最大 8 倍速、読出：最大 12 倍速、 DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、DVD-RAM 書込：最大 2 倍速、 読出：最大 2 倍速、DVD-R 書込：最大 2 倍速、読出：最大 4 倍速、 DVD-RW 書込書換：最大 2 倍速、読出：最大 4 倍速、 DVD+R 読出：最大 4 倍速、DVD+RW 読出：最大 4 倍速
CD-RW/DVD-ROM ドライブ	CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込：最大 16 倍速、DVD-ROM 読出：最大 8 倍速

- 注 11 56000bps は V.92 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。V.92 の 33600bps を超える通信速度は受信時のみで、送信時は 33600bps が最高速度となります。また、日本国内の一般公衆回線、あるいは構内交換機経由での通信においては同規格での通信が行えない場合があります。
- 注 12
- ・SD メモリーカードとメモリースティックの同時使用はできません。
 - ・すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
 - ・マジックゲートなどの著作権保護技術には対応していません。
 - ・マルチメディアカード (MMC) には対応していません。
 - ・メモリースティック Duo /メモリースティック PRO Duo をお使いの場合は、アダプタが必要になります。必ずメモリースティック Duo /メモリースティック PRO Duo をメモリースティック Duo アダプタにセットしてからお使いください。
- 注 13 全ての USB 対応周辺機器について動作保証するものではありません。
- 注 14 すべての IEEE1394 対応周辺機器について動作保証するものではありません。
- 注 15 社団法人 電子情報技術産業協会の『JEITA バッテリ動作時間測定法 (Ver1.0)』(<http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html>)。なお、モバイルマルチペイ用カバーまたは増設用内蔵バッテリーユニット搭載時、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。
- 注 16 電源 OFF 時またはスタンバイ時。なお、装置の動作状況により充電時間が長くなることがあります。
- 注 17
- ・動作時の最小消費電力 (Windows 起動直後の消費電力) / 最大消費電力です。また、AC アダプタ運用時の消費電力です。
 - ・電源 OFF 時の消費電力は、約 1W 以下 (満充電時) です。なお、電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 注 18 スタンバイ時 (充電なし。AC アダプタを含む)。なお、エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- 注 19 ご購入時の選択によっては、512MB、768MB、1GB の場合もあります。
- 注 20 ご購入時の選択によっては、80GB の場合もあります。
- 注 21 出荷時に Service Pack1a が適用されています。
- 注 22 Service Pack1a が適用されている必要があります。

付 録

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

1 メモリについて	84
-----------------	----

1 メモリについて

ここでは、周辺機器を取り付ける前に知っておいていただきたいことや、メモリの取り付け方などを説明しています。

POINT

周辺機器とは

プリンタ、デジタルカメラ、メモリなどの装置のことです。パソコンの各種コネクタに接続したり、パソコン本体内部に取り付けたりして、パソコンの機能を拡張したり、処理速度を高めたりできます。

警告

感 電



- ・ 周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
電源を入れたまま、または電源プラグを接続したままだと、感電・火災または故障の原因となります。

注意

故 障



- ・ 周辺機器のケーブルは正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。
- ・ 周辺機器、および周辺機器のケーブルは、弊社純正品をお使いください。
純正品以外の周辺機器、および周辺機器のケーブルをお使いになると、故障の原因となることがあります。

周辺機器の取り扱い上の注意


周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- ・ 周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします
純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。
純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。
- ・ Windows のセットアップは終了していますか？
「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」(●▶P.30) をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。
なお、セットアップを行うときは周辺機器を取り付けないでください。セットアップが正常に行われないおそれがあります。
- ・ 周辺機器によっては設定作業が必要です
パソコンの周辺機器の中には、接続するだけでは正しく使えないものがあります。このような機器は、接続した後で設定作業を行う必要があります。例えば、プリンタや PC カードを使うには、取り付けた後に「ドライバのインストール」という作業が必要です。また、メモリなどのように設定作業が必要ない機器もあります。周辺機器の接続は、このマニュアルをよくご覧になり、正しく行ってください。

・フロッピーディスクドライブについて

フロッピーディスクドライブが内蔵されていない機種をお使いの場合で、フロッピーディスクによるドライブのインストールが必要なときは、別売の FDD ユニット（USB）を用意してください。

・マニュアルをご覧ください

ケーブル類を接続する場合は、（サービスアシスタント）のトップ画面→「FMV の使い方」をご覧ください。接続時に間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、このパソコンおよび周辺機器が故障する原因となることがあります。

また、「FMV の使い方」で説明している周辺機器の取り付け方法は一例です。「FMV の使い方」とあわせて周辺機器のマニュアルも必ずご覧ください。

・純正品をお使いください

弊社純正のオプション機器については、販売店にお問い合わせになるか、FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページの「富士通純正品」をご覧ください。

他社製品につきましては、このパソコンで正しく動作するかどうか、保証いたしかねます。他社製品をお使いになる場合は、製造元のメーカーにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

・ACPI に対応した周辺機器をお使いください

このパソコンは ACPI モードに設定されています。ACPI モードに対応していない周辺機器をお使いの場合、省電力機能などが正しく動作しない場合があります。

また、このパソコンでは、低レベルのスタンバイ（ACPI S1）をサポートしていません。

お使いになる周辺機器が低レベルのスタンバイのみサポートしている場合は、パソコンをスタンバイや休止状態にしないでください。

・周辺機器の電源は、パソコンの電源を入れる前に入れてください

電源を入れて使う周辺機器を取り付けた場合は、周辺機器の電源を入れてからパソコンの電源を入れてください。また、周辺機器の電源を切るときは、パソコンの電源を切ってから周辺機器の電源を切ってください。

重要

- ・コネクタに周辺機器を取り付ける場合は、コネクタの向きを確認し、まっすぐ接続してください。
- ・複数の周辺機器を取り付ける場合は、1 つずつ取り付けて設定を行ってください。

メモリの取り付け場所

メモリは、パソコン本体下面の拡張 RAM モジュールスロットに取り付けます。

ご購入時の状態やメモリの増やし方は、お使いの機種により異なります。

■ T70H, T50H をお使いの方

ご購入時は、スロット 1 に 256MB のメモリが 1 枚取り付けられています。メモリは最大 1GB まで増やせます。

メモリ容量を増やすには、スロット 2 に、新たにメモリを取り付けます。メモリを最大容量まで増やしたいときは、あらかじめ取り付けられているメモリ（スロット 1、2）を取り外して交換します。

■ T70HN をお使いの方

ご購入時に選択したメモリが取り付けられています。メモリは最大 1GB まで増やせます。メモリ容量を増やすには、スロット 2 に、新たにメモリを取り付けます。メモリを最大容量まで増やしたいときは、ご購入時に選択して取り付けられたメモリ（スロット 1、2）を取り外して交換します。

1GB のメモリを選択した方は、これ以上メモリ容量を増やすことはできません。

必要なものを用意する

■ メモリ（拡張 RAM（ラム）モジュール）

FMVNM25FM (256MB)、FMVNM51FM (512MB) のメモリのうち、1 枚取り付けられます。

■ プラスのドライバー（ドライバーサイズ：1 番）

このパソコンのネジを取り外すときに使います。ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズ (M2.0) に合ったものをお使いください。他のドライバーを使うと、ネジの頭をつぶすおそれがあります。

メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。
次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。

■ T70H, T50H をお使いの方、または T70HN で 256MB のメモリを 1 枚選択した方

総容量	スロット 1	スロット 2
256MB（ご購入時）	256MB	なし
512MB	256MB	256MB
	512MB [注]	なし
768MB	256MB	512MB
1GB（最大）	512MB [注]	512MB

注： あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

■ T70HN で 256MB のメモリを 2 枚選択した方

総容量	スロット 1	スロット 2
512MB（ご購入時）	256MB	256MB
	512MB [注]	なし
768MB	256MB	512MB [注]
1GB（最大）	512MB [注]	512MB [注]

注： あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

■ T70HN で 512MB のメモリを 1 枚選択した方

総容量	スロット 1	スロット 2
512MB（ご購入時）	512MB	なし
512MB	256MB [注]	256MB
768MB	512MB	256MB
1GB（最大）	512MB	512MB

注： あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

■ T70HN で 512MB のメモリを 2 枚選択した方

総容量	スロット 1	スロット 2
1GB（ご購入時／最大）	512MB	512MB

メモリを増やす

ここでは、メモリを増やす方法を説明しています。

メモリスロットにメモリを取り付ける場合と、取り付けられているメモリを交換する場合で手順が異なります。お使いのパソコンの状態を確認して、正しく行ってください。

警告



感電

- ・メモリの取り付け／取り外しを行う場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外してください。
感電の原因となります。



誤飲

- ・取り外したカバー、キャップ、ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が誤って飲み込むと窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かない所に置くように注意してください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

注意



高温

- ・メモリの取り付け位置のすぐそばに高温になる部分があります。
メモリの取り付け／取り外しを行うときは、パソコン本体の電源を切って、しばらくしてから行ってください。火傷の原因となることがあります。



故障

- ・メモリの取り付け／取り外しを行うときは、端子やICなどに触れないようメモリのふちを持ってください。また、パソコン本体内部の部品や端子などにも触れないでください。指の油分などが付着すると、接触不良の原因となることがあります。



故障

- ・メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体に留った静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。



故障

- ・メモリの取り付け／取り外しを行う場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってください。スタンバイや休止状態中に行うと、データが消失したり、パソコン本体やメモリが故障する原因となることがあります。

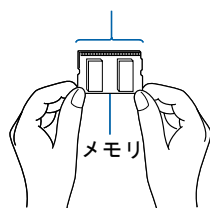
重要

メモリを取り付けるときの注意

- ・操作に必要な箇所以外には手を触れないでください。故障の原因となることがあります。
- ・パソコンの部品など不要な物を、パソコン本体内部に落とさないでください。故障の原因となることがあります。
- ・メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。

- ・メモリは下図のようにふちを持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。

この部分には手を触れないでください。



POINT

メモリの取り付け手順の動画を見ることができます

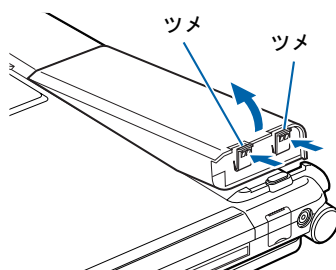
FMV 活用サイト AzbyClub（アズビィクラブ）ホームページ（<http://azby.fmworld.net/>）で、メモリの取り付け手順の動画がご覧になれます。

1 パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。

2 液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。

3 内蔵バッテリーパックを取り外します。

内蔵バッテリーパックがコネクタから外れます。



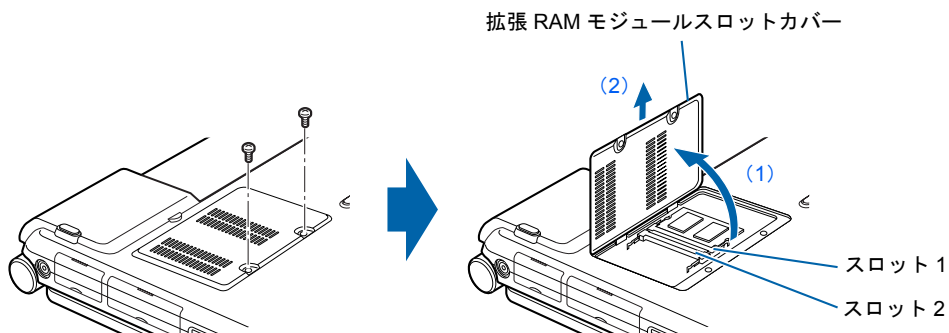
4 メモリの取り付け場所とメモリの容量の組み合わせを確認します。

メモリの取り付け場所については、「メモリの取り付け場所」（●▶P.85）をご覧ください。
メモリの容量と組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」（●▶P.86）をご覧ください。

取り付けられているメモリを新しいメモリに交換する場合は、手順 6 へ進んでください。

5 ネジ (2ヶ所) を取り外し、拡張 RAM モジュールスロットカバーを取り外します。

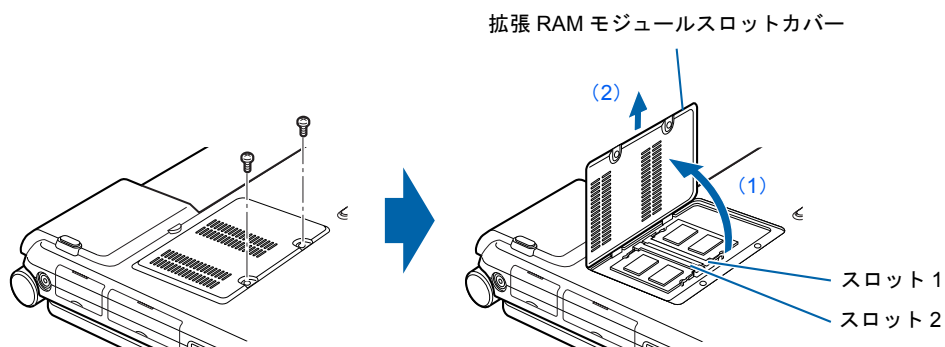
拡張 RAM モジュールスロットカバーを矢印の方向に開いて (1)、取り外します (2)。



この後は、手順 8 へ進んでください。

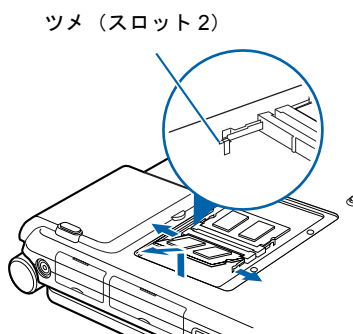
6 ネジ (2ヶ所) を取り外し、拡張 RAM モジュールスロットカバーを取り外します。

拡張 RAM モジュールスロットカバーを矢印の方向に開いて (1)、取り外します (2)。



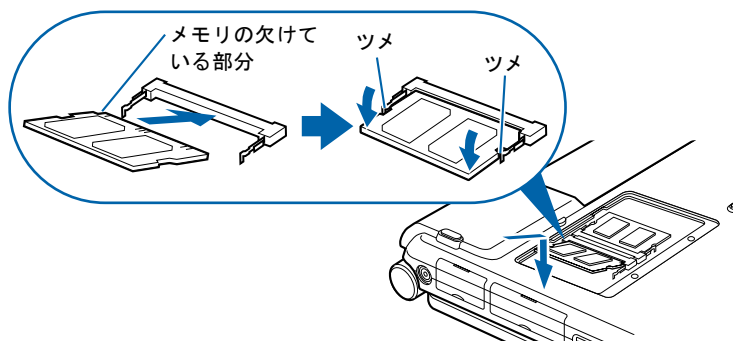
7 メモリを取り外します。

メモリを押さえている両側のツメを左右に開くと、メモリが少し斜めに持ち上がるので、メモリを斜め上の方向に引っ張り、スロットから取り外します。

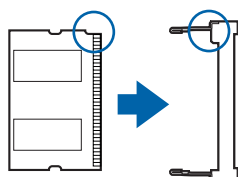


8 メモリを取り付けます。

メモリの欠けている部分と、コネクタの突起を合わせ、斜め上からしっかりと差し込み、パチンと音がするまで下に倒します。



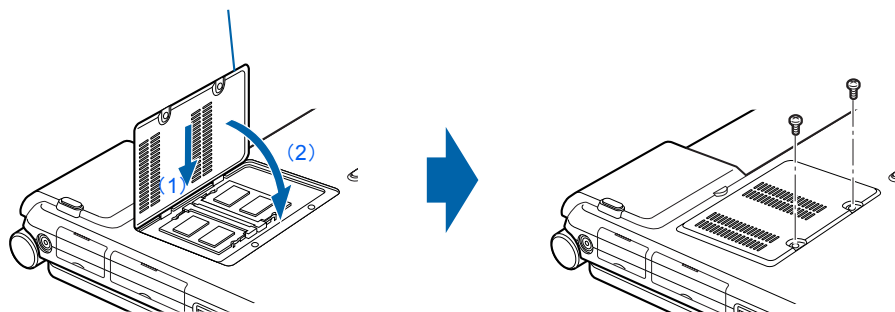
・メモリの欠けている部分と、コネクタの突起部分



9 拡張 RAM モジュールスロットカバーを取り付けます。

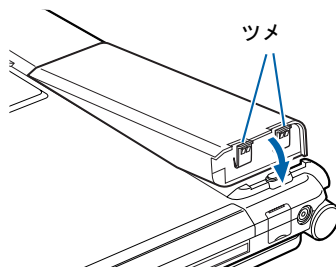
手順5または手順6で外したカバーを取り付けます。

拡張 RAM モジュールスロットカバー



10 内蔵バッテリーパックを取り付けます。

パソコン本体の突起と内蔵バッテリーパックのスリットを合わせ、ツメがカチッと音がするまでしっかりとはめこみます。



続いて、メモリ容量を確認します (●▶P.92)。

メモリ容量を確認する

1 パソコン本体の電源を入れます。



画面に何も表示されないときは

メモリが正しく取り付けられていないと、電源を入れたときに「拡張メモリエラー」というメッセージや英語のメッセージが表示されたり、画面に何も表示されないことがあります。その場合は電源ボタンで電源を切り、メモリを取り付け直してください。

2 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

3 「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」の順にクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 ○で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかどうかを確認します。

メモリ容量の数値が正しくない場合は、メモリがきちんと取り付けられているかどうかを確認してください。



画面は、512MB のメモリを取り付けた例です。

このパソコンではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、8MB 少なく表示されます。

お使いのシステム構成によってはさらに 1MB 少なく表示される場合があります。

5 「OK」をクリックします。

「パフォーマンスとメンテナンス」ウィンドウに戻ります。



索引

A

AC アダプタ	24
ー接続する	26
AC ケーブル	24

C

CD/DVD ドライブ	72
CD 取り出しボタン	44

D

DC-IN コネクタ	72
------------	----

I

IEEE1394 (DV) 端子	72
------------------	----

L

LAN コネクタ	72
----------	----

P

PC カード	
ースロット	72
ー取り出しボタン	72

S

SD カードスロット	70
S ビデオ端子	72

U

USB コネクタ	72
----------	----

W

Windows	30
ー使用許諾契約書	34
ーセットアップ	30
Windows Update	50

あ行

インターネット	49
インターネット接続	
ファイアウォール (ICF)	49
インターネットのセキュリティ対策	49
ウイルス	49
液晶ディスプレイ	23, 70

か行

外部ディスプレイコネクタ	72
拡張 RAM モジュールスロット	74
各部名称	69
ー状態表示 LED	75
ーパソコン本体下面	74
ーパソコン本体上面	71
ーパソコン本体前面	70
ーパソコン本体側面	72
ーパソコン本体背面	73
乾電池について	13
キーボード	70
機種名	20
クリック	32
コンパクトフラッシュカードスロット	72
コンパクトフラッシュカード	
取り出しボタン	72

さ行

サービスアシスタント	42
指紋センサー	58
指紋センサーについての注意	67
指紋認証	58
指紋認証をお使いになる場合の注意	68
指紋を登録する	60
準備をする	49
仕様	
ーパソコン本体	78
状態表示 LED	70, 75
スピーカー	70
接続方法	50
セットアップ	30

た行

デジタルカメラ	84
電源	
ー入れる	30, 47
ー切る	44
ー切れない場合	45
電源ボタン	70
盗難防止用ロック	73

な行

内蔵バッテリーパック	74
内蔵マイク	70
認証を行う	64

は行

ハードディスクアクセスランプ	75
初めて電源を入れる	30
バッテリー	
－残量表示ランプ	75
－充電表示ランプ	75
－装着表示ランプ	75
－使うときの注意	47
光デジタルオーディオ出力端子	72
ビデオ出力端子	72
品名	20
フラットポイント	70
プリンタ	84
ヘッドホン端子	72
保証書	24, 39

ま行

マイク端子	72
メモリー スティックスロット	70
モデムコネクタ	72
モバイルマルチベイロック	74

や行

ユーザー登録をする	52
指のスライドのさせ方	66

わ行

ワイヤレス LAN アンテナ	71
ワイヤレススイッチ	70

F M V -BIBLO LOOX T70H, T50H, T70HN

パソコンの準備

B6FH-1401-01-00

発 行 日 2004 年 4 月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。